

家庭用

Si 全ロセンサー搭載
センサーコンロ

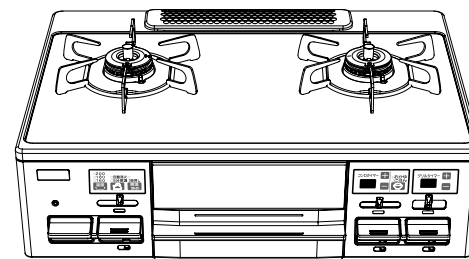
据置型ガラストップコンロ

取扱説明書 保証書付

型 番

210-H030型

210-H031型



このたびは、大阪ガスの据置型ガラストップコンロをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください

- この取扱説明書は、いつでも利用できる場所に大切に保管してください。
- この取扱説明書の裏表紙が保証書になっています。お買い上げ日、販売店名、保証内容などをよく確認し、大切に保管してください。
- 来客者などが機器を使用するときは、その前に必ず取扱説明書の内容を説明してください。
- この機器は家庭用ですので、業務用のような使いかたをされますと、著しく寿命が短くなります。
- この機器は国内専用です。海外では使用できません。
- 本書を紛失された場合や、ご不明な点があればお買い上げの販売店または、もよりの大阪ガス(別紙お問い合わせ先一覧表)にお問い合わせください。

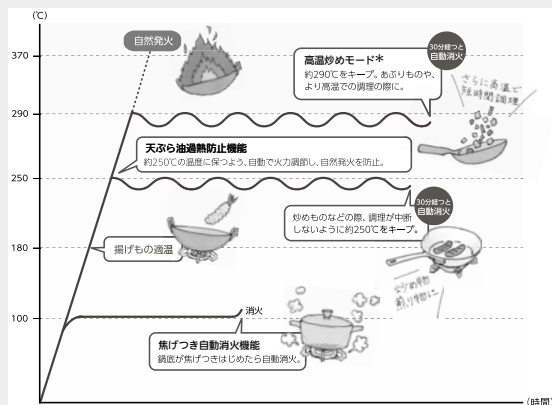
Siセンサーコンロについて

Siセンサーコンロ

安心(Safety)、便利(Support)、笑顔(Smile)を約束する、
賢い(Intelligent)センサーを搭載した、進化したコンロです。

◎風や煮こぼれで火が消えた場合、 自動的にガスを止めます！	消え安全装置
◎万一消し忘れても、一定時間で自動消火します！	消し忘れ消火機能
◎天ぷら油の過熱を未然に防止します！	調理油過熱防止装置 (天ぷら油過熱防止機能)
◎煮ものなどの焦げつきを初期段階で検知し、 自動消火します！	焦げつき自動消火機能

●温度センサーのはたらき



*高温炒めモードとは

- ・通常時より高い温度まで調理できる機能です。(チャオコンロのみ)
- ・高温炒めモードを使用しても、異常過熱を防止するために、温度センサーの温度が上がりすぎると、自動的に火力を調節したり、自動消火します。
- ※高温炒めモードを使用すると、天ぷら油過熱防止機能、焦げつき自動消火機能は作動しません。

とくに多いご質問です

- ・点火／消火ボタンを押しても、点火しない
- ・電池交換サインが点滅している

乾電池が消耗しているためです。
新品のアルカリ乾電池(単1形：2個)と交換してください。
乾電池を交換する(電池交換サイン点滅)めやすは約1年です。

👉 21

・ブザー音がする

安心・安全機能がはたらいているためです。
安心・安全機能のはたらきにより火が消えたときに、点火／消火ボタンを戻し忘れると、5分おきにブザー音『ピー』でお知らせします。
戻し忘れたまま放置すると、乾電池の消耗が早くなります。必ず点火／消火ボタンを押し、「消火の状態」に戻してください。
※他のバーナーを使用中は、ブザー音は鳴りません。

👉 22

・勝手に火が小さくなったり、火が消えたりする

安心・安全機能がはたらいているためです。
自動的に火力を調節したり、自動消火し、高温になり過ぎることを防止します。
※調理に支障があるときは、高温炒めキーを押すと、通常時より高温での調理ができます。

👉 22

・高温炒めモードを使用しているのに、勝手に火が小さくなったり、火が消えたりする

安心・安全機能がはたらいているためです。
鍋などの異常過熱を防止するために、温度センサーの温度が上がりがすぎると、自動的に火力を調節したり、自動消火します。
また、約60分(高温で自動火力調節している状態の場合は約30分)連続使用すると、消し忘れ消火機能がはたらき自動消火します。
※自動火力調節で弱火になっている場合は、火力を強くしても受け付けません。

👉 37

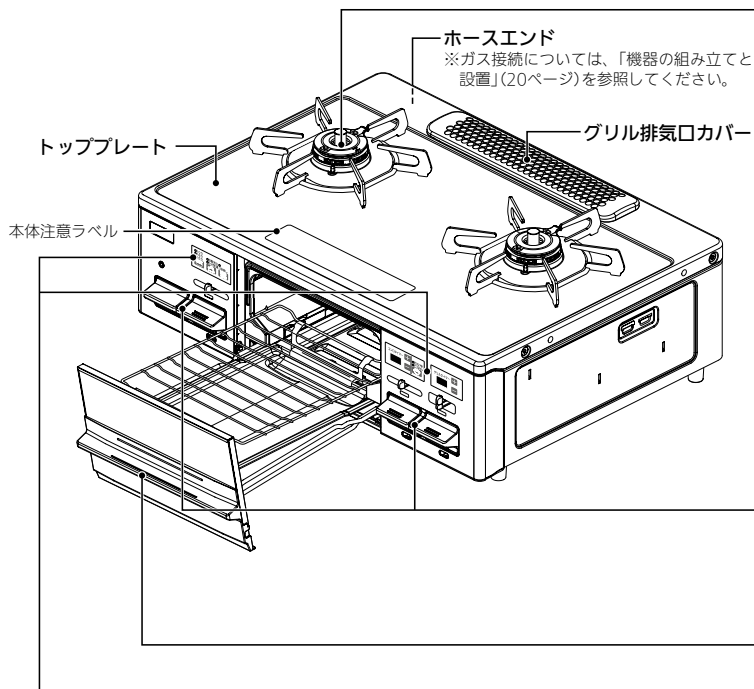
👉 内の数字は、参照ページを示しています。

もくじ

各部のなまえ	3
かんたん操作ガイド	5
安全なご利用のために	
必ずお守りください(安全上の注意)・・・	7
機器の組み立てと設置	17
このコンロについて	
乾電池の入れかた	21
安心・安全機能	22
毎日の使いかた	
コンロを使う準備	23
コンロの使いかた(基本操作)・・・	25
タイマーモード(標準コンロ)・・・	27
温度キープモード(チャオコンロ)・・・	29
湯わかしモード(チャオコンロ)・・・	31
炊飯モード(標準コンロ)・・・	33
高温炒めモード(チャオコンロ)・・・	37
グリルを使う準備	39
グリルの使いかた	41
便利な使いかた	
設定の変更(カスタマイズ機能)・・・	43
長くご利用いただくために	
お手入れ	44
よくあるご質問	51
ブザー報知、お知らせ表示	57
長期間使用しない場合、仕様	59
アフターサービス、廃棄時のお願い	60
交換部品(消耗部品)、別売部品	61
保証書	裏表紙

各部のなまえ

※操作部に保護シートが貼ってある場合があります。ご使用の際には、取り外してください。
※イラストは、チャオコンロが左タイプで説明しています。

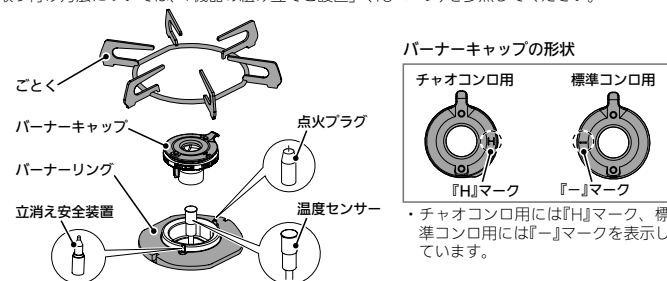


型番	トッププレート(ガラス)	パネル	左コンロ仕様	右コンロ仕様
210-H030型	ブラック	シャンパンゴールド	チャオコンロ	標準コンロ
210-H031型			標準コンロ	チャオコンロ

※型番により、左・右コンロバーナーの火力が異なりますので、注意してください。

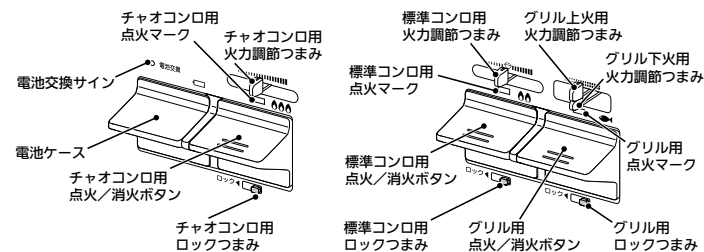
コンロ調理部

※取り付け方法については、「機器の組み立てと設置」(18ページ)を参照してください。

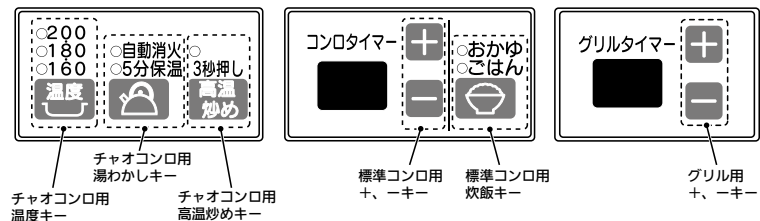


電池ケース部、コンロ、グリル操作部(パネル)

※乾電池の交換方法については、「乾電池の入れかた」(21ページ)を参照してください。

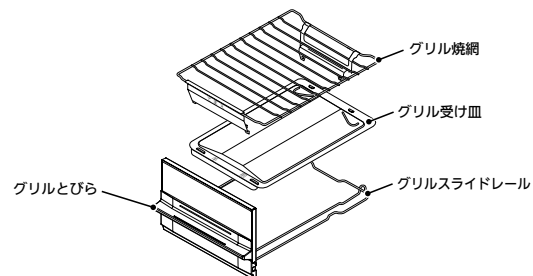


コンロ、グリル操作部(シート)



グリル部

※取り付け方法については、「お手入れ」(48ページ)を参照してください。



かんたん操作ガイド

※イラストは、210-H030型で説明しています。

コンロ操作部 タイマーで煮る、ゆでる (標準コンロ) コンロを使う準備 ②③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿	1 点火する 	2 火力調節する 	3 タイマーを設定する 	4 点火/消火ボタンを戻す
コンロ操作部 揚げる、焼く (チャオコンロ) コンロを使う準備 ②③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿	1 点火する 	2 火力調節する 	3 温度を設定する 	4 調理が終了したら、消火する
コンロ操作部 お湯をわかす (チャオコンロ) コンロを使う準備 ②③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿	1 点火する 	2 火力調節する 	3 湯わかしを設定する 	4 点火/消火ボタンを戻す
コンロ操作部 ごはんを炊く (標準コンロ) コンロを使う準備 ②③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿	1 点火する 	2 火力調節つまみを○の位置に合わせる 	3 炊飯を設定する 	4 点火/消火ボタンを戻す
コンロ操作部 あぶる、炒める (チャオコンロ) コンロを使う準備 ②③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿	1 点火する 	2 火力調節する 	3 高温炒めを設定する 	4 調理が終了したら、消火する
グリル操作部 魚を焼く グリルを使う準備 ②③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿	1 点火する 	2 火力調節する 	3 タイマーを設定する 	4 点火/消火ボタンを戻す

警告

温度センサーの上面と鍋底やフライパンの底などが密着していないときは使用しない

- 温度センサーが鍋底やフライパンの底などの温度を正しく検知できずに、発火や途中消火、機器焼損の原因になります。
- 鍋の重さは、調理物を含め300g以上必要です。とくに片手鍋は調理物の重さが軽くなると温度センサーの力により、鍋やフライパンなどが押し上げられて傾いたり、ずれ落ちる場合があります。

温度センサーが鍋底やフライパンの底などに密着していないときは使用しない

鍋底が凹凸、油汚れ、さび汚れ、異物などが付着しているときは使用しない

ご注意いただきたいこと

自動消火した場合、点火/消火ボタンを「消火の状態」に戻し忘れたまま放置すると、乾電池の消耗が早くなります。必ず点火/消火ボタンを押し、「消火の状態」に戻してください。(22ページ)

必ずお守りください (安全上の注意) ①

安全に正しく使用していただくために必ずお読みください

使用される方や他の方への危害、財産への損害を未然に防止するために、つぎのような区分、表示をしています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りいただき、内容を理解して正しく使用してください。

■危害、損害の程度による内容の区分

△危険	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険または、火災が切迫して生じることが想定される内容です。
△警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性または、火災が想定される内容です。
△注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が軽傷を負う可能性および物的損害のみが発生する可能性が想定される内容です。
お願い	安全に快適に使用していただくために、理解していただきたい内容です。

■注意、禁止内容の絵表示

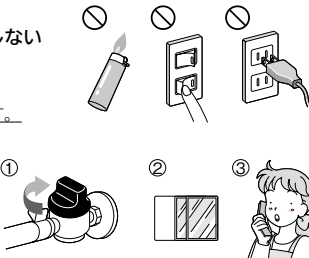
 必ず守る	 換気する	 禁止	 火気禁止
 分解禁止	 接触禁止		

ガス漏れに気づいたときは

△危険
必ず守る

- ・絶対に火をつけない
- ・電気器具(換気扇など)のスイッチの入/切をしない
- ・電源プラグの抜き差しをしない
- ・周辺で電話を使用しない

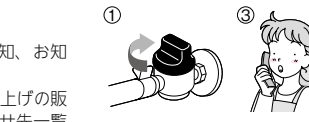
火や火花で引火し、爆発事故を起こすことがあります。



異常時

△警告
必ず守る

- ・点火しない場合または、使用中に異常な燃焼、臭気、異常音などを感じたときは、すぐに使用をやめる
- ①火を消し、ガス栓を閉める。
- ②『よくあるご質問』(51～56ページ)、『ブザー報知、お知らせ表示』(57～58ページ)に従い、処置をする。
- ③上記の処置をしても、なおらない場合は、お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガス(別紙お問い合わせ先一覧表)に連絡する。
- ・地震、火災などの緊急の場合は、ただちに使用を中止し、ガス栓を閉める



使用時や使用後は

△警告
必ず守る

- ・ゴム管が正しく接続されているか、ひび割れや穴があいていないか確認する
火災のおそれがあります。
- ・点火、消火のあとは、必ず炎を確かめる
火災や思わぬ事故の原因になります。
※また使用後は、ガス栓を閉めてください。

△注意
必ず守る

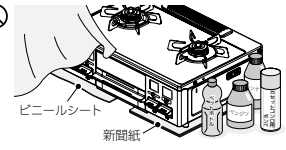
- ・使用するバーナーの点火/消火ボタンを確認してから点火操作をする
間違えて操作すると、別のバーナーが点火して、火災や思わぬ事故の原因になります。
- ・点火操作をしても点火しない場合は、点火/消火ボタンを押し、「消火の状態」にし、周囲のガスがなくなってから再度点火する
すぐに点火操作をすると、周囲のガスに引火して衣服に燃え移ったり、やけどをするおそれがあります。

機器周辺には

△警告
禁止

- ・引火のおそれのあるものや燃えやすいものを機器の近くで使用したり、置いたりしない
- ・引火のおそれのあるもの
スプレー、ガソリン、ベンジン、カセットコンロ用ボンベなど
- ・燃えやすいもの
ペットボトル、プラスチック類、ふきん、タオル、カーテン、調理油、新聞紙、ビニールシートなど

火災の原因や、熱でスプレー缶の圧力が上がり、スプレー缶が爆発する原因になります。



調理以外の用途には使用しない

△警告
禁止

- ・練炭の火起こしや衣類(ふきんなど)の乾燥などに使用しないでください。過熱、異常燃焼による機器焼損、火災の原因になります。
- ・アルミはく製する受け、省エネごとくなどの補助具は使用しない
一酸化炭素中毒や機器の異常過熱のおそれがあります。
- ・焼網は使用しない
トッププレートに落ちた油などが発火したり、機器の異常過熱のおそれがあります。
- ・コンロをおおうような、大きな鉄板や鍋は使用しない
不完全燃焼をおこしたり、機器の異常過熱のおそれがあります。



△注意
禁止

- ・グリルとびら、電池ケース部などに、重いものをのせたり強い力を加えない
けがや機器損傷の原因になります。

必ずお守りください (安全上の注意) ②

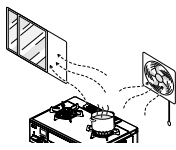
使用中は

警告

- ・火をつけたまま離れない
- ・火をつけたまま就寝や外出は絶対にしない
調理中のものが焦げたり燃えたりするなど、火災の原因になります。
※とくに天ぷらや揚げもの調理、グリルを使用しているときは注意してください。
電話や来客の場合は、一旦火を消してください。
- ・火がついたまま持ち運ばない
やけどや火災の原因になります。

注意

- ・必ず換気をする
窓を開けたり換気扇を回すなど、換気を行ってください。
換気を行わずに、他の燃焼機器と同時に使用した場合など、不完全燃焼による一酸化炭素中毒の原因になります。
※屋内設置(密閉式は除く)の給湯器やふろがまを使用している場合は、換気扇を回さず、窓を開けて換気をしてください。換気扇を回すと排気ガスが逆流して一酸化炭素中毒の原因になります。
- ・点火操作時や使用中は、バーナーとグリル排気口付近に顔や手などを近づけない
- ・グリルとびらを開けた状態でグリルを点火しない
炎や熱で顔や手などに、やけどをするおそれがあります。
- ・使用中や使用直後は操作部以外は触らない
機器本体とその周辺および調理用具が熱くなっており、やけどをするおそれがあります。
とくに小さなお子さまがいる家庭ではやけどに注意してください。
※グリルのみを使用してもグリルバーナーの炎や排気の熱により、トッププレートは熱くなります。
また、1カ所のみのコロコを使用している場合でも、使用していないコロコ側のトッププレートも熱伝導で熱くなる場合があります。

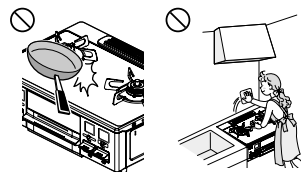


コンロ編

トッププレートについて

警告

- ・衝撃や荷重を加えない
- ・上にのらない
トッププレートが変形、破損して、異常過熱や火災の原因になります。
※破損したときは、けがの原因にもなりますので、程度に関係なく、すぐに修理を依頼してください。



使用中は

警告

- ・コンロ使用中は、身体や衣服が炎に近付かないように注意する
衣服に炎が移って、やけどをするおそれがあります。
また、安心・安全機能が作動して炎が自動的に大きくなったり、風で炎があおられて鍋底からあふれ、衣服に移ることがありますので注意してください。

注意

- ・エアコン、扇風機などの風がコンロの炎に当たらないように配慮して使用する
風が当たると温度センサーが鍋底の温度を正しく検知できず、炎が途中で消えたり機器損傷の原因になります。
- ・やかんや鍋などの大きさに合わせて火力を調節する
はみ出した炎により、やかんや鍋の取っ手などが過熱され、やけどや取っ手などの焼損の原因になります。

コンロ編

揚げものの調理の際は

警告

- ・高温炒めモードで揚げものの調理をしない
調理油の温度が高くなり、発火するおそれがあります。
- ・耐熱ガラス容器や土鍋など、熱が伝わりにくい容器で油料理をしない
天ぷら油過熱防止機能が作動せず、調理油が発火するおそれがあります。
- ・揚げものは食材全体が十分につかるまで調理油(必ず200mL以上)を入れて行う
調理油の量が少なかったり、減ってきたりすると、発火するおそれがあります。
とくに、フライパンなどの底が広い鍋で揚げものをやる際は、食材全体が調理油に十分につかっていないと、発火するおそれがあります。
- ・冷凍食材を鍋の底面中央に密着させた状態で揚げものをしない
鍋の底面中央(温度センサーの接触位置)に冷凍食材が密着した状態で揚げものの調理をすると、温度センサーが鍋底の温度を正しく検知しないため、発火するおそれがあります。
食材は中央部を避けて置いてください。
- ・複数回使った調理油で揚げものをしない
何回も使用して茶褐色に変色した調理油、にごった調理油、揚げカスなどが沈んだまま残っている調理油は使用しないでください。発火が起こりやすくなる場合があります。
- ・揚げすぎない
豆腐などの水分の多いものや、衣つきのコロッケなどの破裂しやすいものは、とくに注意してください。揚げすぎると油が飛び散り、発火や、やけどのおそれがあります。



警告

- ・調理油の廃油凝固剤使用時に油を加熱するときは、絶対に機器から離れない
廃油凝固剤の分量を守り、油の温度が上がりすぎないように注意し、溶けたらすぐに消火してください。廃油凝固剤を入れすぎたり、加熱しすぎると、発火するおそれがあります。

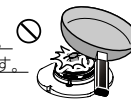
温度センサーは

警告

- ・絶対に取り外さない
火災の原因になります。

注意

- ・強いショックを加えたり、キズをつけない
鍋底に温度センサーが密着しなくなり、調理油が発火する場合があります。
また、温度センサーが故障すると安心・安全機能が作動しない場合があります。
- ・こまめにお手入れし、上下にスムーズに動くことを確認する
鍋底に温度センサーが密着しなくなり、調理油が発火する場合があります。
また、動きが悪いと鍋などが傾き、お湯などがこぼれ、やけどの原因にもなります。密着しない場合、点検、修理を依頼してください。

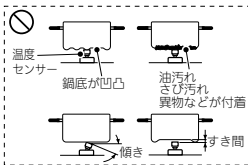


必ずお守りください (安全上の注意) ③

コンロ編

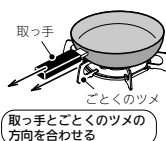
鍋などについて

- 警告**
- 温度センサーの上面と鍋底やフライパンの底などが密着していないときは使用しない
 - 鍋底やフライパンの底などに異物や著しい汚れ、焦げなどが付着したまま使用しない
 - 温度センサーが鍋底やフライパンの底などの温度を正しく検知できずに、発火や途中消火、機器焼損の原因になります。
 - 鍋の重さは、調理物を含め300g以上必要です。とくに片手鍋は調理物の重さが軽くなると温度センサーの力により、鍋やフライパンなどが押し上げられて傾いたり、ずれ落ちる場合がありますので、取っ手を持って安定した状態で使用してください。



- 鍋などが、トッププレートからはみ出した状態では使用しない
火災や機器焼損の原因になります。

- 注意**
- 石焼きいもつぼなどの空焼きをする調理用具は使用しない
異常過熱による機器損傷の原因になります。
 - 片手鍋、底がへこんだ鍋や丸い鍋、底がすべりやすい鍋、径の小さい鍋などは、不安定な状態で使用しない
 - 片手鍋などは、調理中に鍋のふたを取ったり、水分の蒸発などにより調理物の重さが軽くなると、温度センサーの力により押し上げられ、傾いたりずれ落ちる場合があるので取っ手を持って使用する



- 不安定な状態で使用すると、鍋が傾いて調理物が体にかかるなどしてやけどの原因になります。
- 片手鍋やフライパンなど、重心が片寄った鍋は不安定な状態にならないよう、取っ手をごとのくツメ方向に合わせる、取っ手を持って使用する、取っ手などを機器の前面からはみ出さないよう横に向けて置くなど、安定した状態で使用してください。
- 中華鍋などの底の丸い鍋は、取っ手を持ちながら使用してください。

- ごのとくを外して鍋などを直接コンロに置いて使用しない
不完全燃焼や機器焼損のおそれがあります。

- トッププレートに直接高温の鍋などをのせない
トッププレートの変色や損傷の原因になります。

- 陶器製鍋を使用する場合は、長時間の使用は避け、中火以下の火力で使用する
異常過熱による機器損傷の原因になります。

- 注意**
- 小さなお子さまに触らせないように注意する
思わぬ事故の原因になります。
お子さまが触れても点火しないよう、ロック機能を設定することができます。(24ページ)

グリル編

グリルについて

- 警告**
- グリル排気口の上に、ふきんやタオル、アルミはくなどをのせたり、ふさがない
 - グリル排気口の周りには、ものを置かない
火災や不完全燃焼の原因になります。
 - グリル使用前はグリル庫内を点検する
グリル庫内に食品くずやふきんなどがあると、使用中に燃えることがあります。また、グリルとびらに魚などをさきこんだまま使用しないでください。



- 注意**
- グリルとびらガラスに衝撃を加えたり(グリルとびらの落下も含む)キズをつけたりしない
 - 使用中や使用直後に水をかけない
グリルとびらガラスが割れて、やけどやけがの原因になります。
 - グリル使用中や使用直後は、グリルとびら取っ手以外は触らない
 - グリル受け皿を持つときは、ぬれふきんなどで持たない
やけどの原因になります。

グリル使用時について

- 警告**
- 脂が出る料理には、グリル焼網の上や下にアルミはくを敷かない
アルミはくの上に脂がたまり、発火する原因になります。
※鶏肉や脂のついたさんまなどは、脂が多く出ます。
また、グリル上火バーナーの炎口がつまり、燃焼不良、途中消火の原因になります。
 - グリル受け皿にグリル石やグリルシートなどを入れない
たまった脂が過熱され、火災の原因になります。



- 注意**
- グリル受け皿に水を入れて使用しない
この機器はグリル受け皿に水を入れる必要がないタイプです。水を入れないでください。グリル機能が正しくはたらかなかったり、調理物が燃えるなどの原因になります。また、お湯がこぼれてやけどの原因にもなります。
 - グリルを使用するときは、グリル排気口に手や顔を近づけない
 - 鍋の取っ手などがグリル排気口にかからないようにする
高温の排気が出て、やけどや鍋の取っ手などの焼損の原因になります。
 - グリルとびらを開けたままやひんぱんに開けたり閉めたりして、グリルを使用しない
トッププレート上部を焦がしたり、機器上部が異常に過熱され、やけどをする原因になります。

必ずお守りください (安全上の注意) ④

グリル編

グリル使用中は

- 注意**

- 

禁止

・魚などを焼きすぎない
魚などに火がつき、グリル排気口から炎が出ることがあり、火災の原因になります。
 - 

必ず守る

・異なる調理物(焼き上げの早い調理物、遅い調理物)を、同時に焼くときは注意する
焦げたり、発火するおそれがあります。
 - 

必ず守る

・鶏肉やさんまなどの脂の多い食材を焼くときは注意する
飛び散った脂に引火して、瞬間的にグリル排気口から炎が出る場合があります。
やけどや火災などの原因になります。
 - 

必ず守る

・調理物が発火した場合は、すぐに使用をやめる
①点火/消火ボタンを押し、消火する。
②炎が消えるまでグリルとびらを開けない。
③消火後、お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガス(別紙お問い合わせ先一覧表)に
点検を依頼する。

グリル使用後は

- 警告**

- 

必ず守る

・グリル使用後および連続使用するときは、グリル受け皿にたまった脂、グリル焼網
についた食材は、ご使用の都度取り除く
たまった脂に火がついて火災のおそれがあります。
- 注意**

- 

必ず守る

・使用直後の魚などの出し入れは、グリルとびらやグリル受け皿、グリル焼網を機器
から取り外さずに行う
グリルとびらガラスやグリル焼網などが熱くなっており、やけどの原因になります。
 - 

必ず守る

・グリル受け皿を持ち運びするときは、冷めてから持ち運ぶ
使用中や使用直後は、グリル受け皿やグリル受け皿にたまった脂が高温になっており、やけどの
原因になります。また、グリル受け皿にたまった脂などがこぼれないように注意してください。

お手入れ編

お手入れの際は

- 注意**

- 

必ず守る

・機器が十分冷めてから、手袋をして行う
やけどや機器の突起物などでけがをする原因になります。
 - 

禁止

・機器や機器周辺(キッチンの天板など)に水をかけたり、水を流しての掃除はしない
また、ぬれふきんやスポンジたわしを使用する場合もよくしぼり、水分を切ってから
使用する
機器内部に水が浸入し、点火不良、不完全燃焼、故障の原因になります。
 - 

禁止

・トップレートは取り外さない
裏面できがをする原因になります。
また、ガラス裏面に洗剤などが付着すると、変色したりキズの原因になります。
 - 

必ず守る

・バーナーキャップを水洗いしたあとは、よく水気を切る
水分が残ったまま取り付けると、点火不良や不完全燃焼の原因になります。

別売部品編

グリルプレートについて(別売部品)

- 注意**

- 

禁止

・油もの料理や、焼き魚にグリルプレートは使用しない
火災の原因になります。
 - 

禁止

・グリル以外では使用はしない
破損の原因になります。
 - 

禁止

・予熱終了後に食材をのせるときは、グリルプレートが高温のため、触れない
やけどの原因になります。
 - 

必ず守る

・グリルプレートは、グリル使用中および使用直後は高温のため、取り出すときは必ず
付属のホルダーを使用する
やけどの原因になります。
 - 

必ず守る

・続けて使用するとき、その都度グリルプレートにたまった食品くずや脂などを取り除く
たまった脂が燃えて、火災のおそれや機器損傷の原因になります。
- お願い**

- 

禁止

・調理終了後、グリルプレートが高温の状態の水などに入れて急冷しない
変形の原因になります。
 - 

必ず守る

・予熱などで、グリルとびらを開けるときは必ず一旦消火する
グリル過熱防止センサー(22ページ)がはたらき、消火する場合があります。

必ずお守りください (安全上の注意) ⑤

お願い

機器について

- ・機器を廃棄する場合は、乾電池を取り外し、専門の業者に処理を依頼してください。
ショートや発熱、液漏れ、破裂により、やけどやけがの原因になります。

機器のご使用について

- ・使用中もときどき、正常に燃焼していることを確認してください。
- ・ガス栓を閉めて火を消さないでください。
やけどや思わぬ事故の原因になります。
- ・トッププレート上で、IHジャー炊飯器、卓上型IHクッキングヒーターなど電磁誘導加熱の調理機器を使わないでください。
磁力線により、機器が故障する原因になります。
- ・ごとくとトッププレートが接触している場所に、跡が付くことがあります。
- ・トッププレートには、安全に関するラベルが貼り付けてあります。
もし、はがれたり、読めなくなった場合は、お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガス(別紙お問い合わせ先一覧表)に連絡してください。貼り替える場合は、トッププレートの汚れをふき取り、同じ場所に貼り付けてください。
- ・弱火で使用している場合は、グリルとびらをゆっくり開閉してください。
開閉により発生した風で、火が消える場合があります。

コンロのご使用について

- ・弱火のときは炎が見えにくい場合がありますので、消し忘れに注意してください。
- ・調理中に鍋をのせかえるときは、一旦火を消してください。
火を消さずに作業をすると、やけどの原因になります。
- ・強火で長時間使用すると土鍋やホーロー鍋など、鍋の種類によっては、ごとくがくっつくことがあります。
長時間使用したあとに、鍋を動かすときは、鍋とごとくがくっついていないことを確認してください。
ごとくがくっついた場合は、すぐに元の位置に戻し、機器が冷めてからくっついたごとくを鍋から外してください。
くっついたまま動かすと、ごとくが落下し、やけど、けが、機器損傷の原因になります。
- ・煮こぼれたときは、その都度手入れを行ってください。
バーナーに煮こぼれがかかったまま放置すると、炎口がつまり機器内部で燃えることにより、機器焼損の原因になります。機器の内部に煮汁が浸入すると、故障の原因になります。

突沸現象について

- ・みそ汁やカレー、ミートソースなど、とろみのある料理を煮たり温めたりするときは、火力を弱めにして、よくかき混ぜてください。
強火で急に温めると、鍋底に沈んだみそやルーなどが突沸現象により突然噴き上がり、鍋がはねあがってやけどをする原因になります。(とくにだし入り豆みそ(赤みそなど)に注意してください。)

突沸現象とは、突然にふっとする現象です。

水、牛乳、豆乳、酒、みそ汁、コーヒーなどの液体を温めるときに、ささいなきっかけ(容器をゆす、塩、砂糖などを入れる)で生じます。

この現象が調理中に起きると、鍋がはねあがったり、高温の液体が飛び散るため、やけどやけがをするおそれがあります。これらの予防法として次の点にご注意ください。

- ・カレー、ミートソースなどのとろみのある料理やみそ汁などの汁ものの温めは弱火でかき混ぜながら加熱する。(強火で急に加熱しない。)
- ・熱々の汁ものに、塩、砂糖などの調味料を入れる場合は、少し冷ましてから行う。
- ・鍋の大きさにあった火力で加熱する。

設置編



絶対に改造、分解は行わない

改造、分解は、不完全燃焼による一酸化炭素中毒となるおそれがあります。
また、火災の原因になります。



水平で安定性のよい丈夫な台の上に設置する

不安定な所や傾いた所に設置すると、機器が傾いてやけどやけがのおそれがあります。



棚の下など落下物の危険のある所を避ける

機器の上に落ちたものが燃えて、火災の原因になります。



照明器具など樹脂製品の下に設置しない

照明器具のかさなどが変形、変色する原因になります。



エアコン、扇風機などの風が当たる場所や、強い風が吹き込む場所には設置しない

風が当たると、安心・安全機能がはたらかず、点火不良、機器焼損、思わぬ事故の原因となります。



湯沸器の下には設置しない

湯沸器の不完全燃焼防止装置がはたらき、火がつかない場合があります。
また、湯沸器の寿命を縮めます。

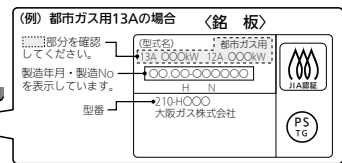
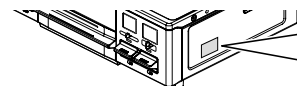


銘板に表示しているガス(ガスグループ)で使用する

転居時は、供給ガスの種類が銘板の表示と一致していることを確認する

表示以外のガスで使用すると、不完全燃焼による一酸化炭素中毒、異常点火や機器が故障する原因になります。

供給ガスがわからない場合は、お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガス(別紙お問い合わせ先一覧表)にお問い合わせください。



可燃性の部分(棚、壁、家具など)から十分離して設置する

火災予防条例で定められていますので、必ず守ってください。距離が近いと火災の原因になります。
可燃性の壁との離隔距離を取れない場合は、必ず別売の防熱板を取り付ける。

※表面がステンレスやタイルでも壁の内側がベニヤ板などの場合があります。確認できない場合は、防熱板が必要です。詳しくは、『機器の組み立てと設置』(17ページ)を参照してください。



機器周囲の改装をする場合(吊り戸棚を付けるなど)も、可燃物との離隔距離を確実に離す

火災の原因になります。

機器の組み立てと設置 ②

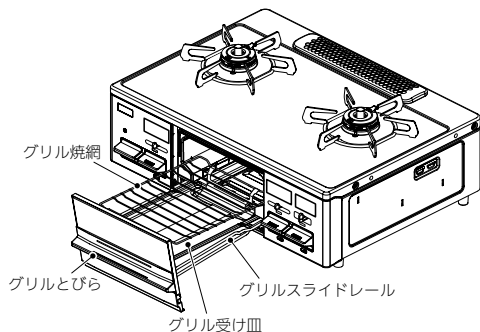
梱包部材やテープ類を取り除く

グリルを引き出し、中の梱包部材やテープ類をすべて取り除いてください。

機器を組み立てる

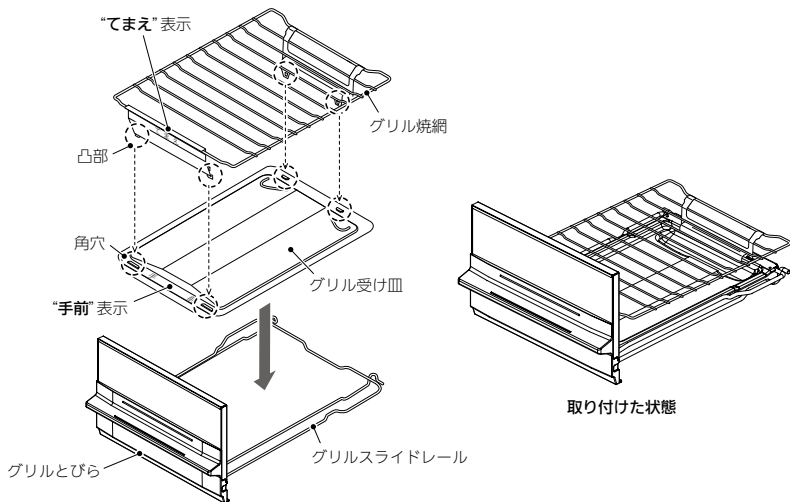
(グリル部)

各部品を正しく取り付けてください。



グリル受け皿、グリル焼網

- ・グリル受け皿の“手前”と表示している方を手前側にし、グリルスライドレールの上ののせ、グリル焼網の“てまえ”と表示している方を手前側にし、グリル受け皿の角穴(4カ所)にグリル焼網の凸部(4カ所)を差し込んで取り付けてください。
※正しく取り付けられていないと、グリルとびらが閉まりません。



安全にお使いいただくために、正しく設置してください。

※機器の設置や移動の際は、けがを防ぐため、必ず手袋をして機器底面の端部を持ってください。

機器とガスを接続する

ガス接続は、下記事項を必ず守り、正しく接続してください。

警告

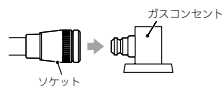
- ❗ **必ず守る** ゴム管はガス用ゴム管(検査合格マークまたは、JISマークの入っているもの)を使用し、ホースエンドの赤い線まで差し込んでゴム管止めでしっかりと止める。
ガス用ゴム管以外の使用は、ガス漏れの原因になります。
 - ❗ **必ず守る** ガスコードを使用する場合は、器具用スリムプラグおよびガスコードの取扱説明書に従う。
間違った接続は、ガス漏れの原因になります。
 - ❗ **必ず守る** ゴム管は高温部に触れたり、折れたり、ねじれたりしないようにできるだけ短くして、機器の下を通したり、機器に触れないようにする。
ゴム管がとけて、ガス漏れの原因になります。
 - ⊘ **禁止** ゴム管の継ぎ足しや二又分岐はしない。
ガス漏れの原因になります。
 - ⊘ **禁止** ひび割れたり、差し込み口がゆるくなったゴム管は使用しない。
ガス漏れの原因になります。
 - ❗ **必ず守る** 接続口に汚れやゴミがないようにする。
ガス漏れの原因になります。
 - ❗ **必ず守る** ゴム管は、ときどき(6カ月に1回程度)点検し、古くなったゴム管は新しいゴム管に交換する。
ガス漏れの原因になります。
- 迅速継手を使用する場合は、ガス栓のゴム管口により接続具が異なります。
接続はお買い上げの販売店または、もりの大阪ガス(別紙お問い合わせ先一覧表)に依頼してください。

ガスコンセントについて

警告

開閉つまみのない「ガスコンセント」の場合、下記の要領で「ガスコンセント」にガスコードなどを取り付けると自動的に閉栓し、取り外すと自動的に閉栓するようになっています。

- ❗ **必ず守る** **取り付け方法(ガス栓を開けるとき)**
ガスコードなどのソケット側を右図のようにガスコンセントに“カチッ”と音がするまで差し込みます。

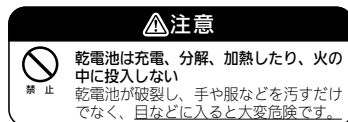
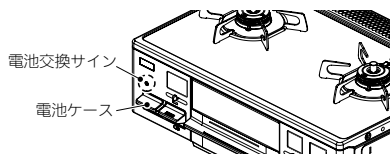


- 取り外し方法(ガス栓を閉めるとき)**
ソケットを外すときは、ソケットのスリーブ(白色)を手前に引きます。



乾電池の入れかた

- 乾電池の交換時期が近づくと電池交換サインが点滅し、最初の点火操作時はブザー音『ピー』でお知らせします。乾電池の容量がなくなると点火できなくなるので、新品のアルカリ乾電池(単1形：2個)と交換してください。



乾電池を交換するときは、必ず機器が冷めてから行ってください。

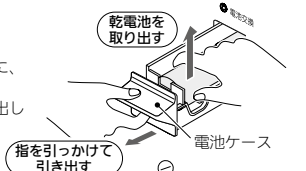
※初めて機器を設置するときは、①の古い乾電池を取り出す作業は不要です。

① 電池ケースを引き出し、古い乾電池を取り出す

古い乾電池は、手前から1個ずつ取り出し、必ず2個とも取り出す。

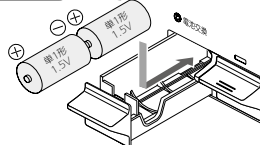
※電池ケースは、乾電池の落下を防止するために、乾電池1個分が取り出せる位置で止まります。電池ケースを引き出すときは、ゆっくり引き出してください。

強く引き出すと、破損の原因になります。

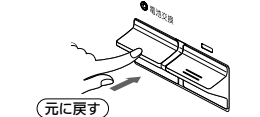


② 新しい乾電池を入れる

新しいアルカリ乾電池(単1形：2個)の⊕⊖を確かめ、電池ケースに組み込む。



③ 電池ケースを元に戻す



乾電池に関するお願い

- 乾電池に記載してある注意事項をよく読み、正しくご使用ください。
- 乾電池の組み込み方向を間違えないようにしてください。
- 乾電池が正しく組み込まれていなかったり、乾電池の容量が全くなかった場合は、使用できません。
- 乾電池は必ず2個とも同種類の新品のアルカリ乾電池を使用してください。
- アルカリ乾電池(単1形：2個)を使用した場合、乾電池を交換する(電池交換サイン点滅)めやすは約1年です。(使用状況、使用時間、乾電池製造メーカーにより交換時期が1年以内と短くなる場合があります。また、新しい乾電池と古い乾電池の組み合わせや種類の違う乾電池を混ぜて使用した場合、マンガン乾電池を使用した場合は、交換時期が短くなります。)
- 未使用の乾電池でも「使用推奨期限(月、年)」を過ぎている場合は、自然放電により短時間で電池交換サインが点滅する場合があります。また、付属のアルカリ乾電池(単1形：2個)は、工場出荷時期により寿命が短くなっている場合があります。
- 電池ケースに水や異物が入った場合、ふき取ってきれいにしてください。電池機能不良の原因となります。
- 単2形、単3形乾電池を単1形サイズにする電池スパーサーは、電池ケースの⊖端子が接触せず、使用できない場合があります。また、使用できた場合でも、交換時期が極端に短くなります。

安心・安全機能

◎風や煮こぼれで火が消えた場合、自動的にガスを止めます。

立消え安全装置 (コンロ) (グリル)

- 火が消えてから数秒後にガスを完全に止めます。
- ※再度点火するときは、窓や戸を開けて換気をし、ガスのにおいが完全になくなってから点火してください。
- ※立消え安全装置がはたらいたときは、タイマー表示部に『12⇐_1または_2または_5』が10回点滅します。



◎万一消し忘れても、一定時間で自動消火します。

コンロ消し忘れ消火機能 (コンロ)

- 点火後、約120分(高温で自動火力調節している状態の場合は約30分)連続使用すると自動消火します。
- ※チャオコンロは高温炒めモード使用時、約60分(高温で自動火力調節している状態の場合は約30分)連続使用すると自動消火します。
- ※コンロ消し忘れ消火機能の設定時間は、変更することができます。(43ページ)

グリル消し忘れ消火機能 (グリル)

- 連続使用可能時間は約15分です。点火後、最長で約15分連続使用すると自動消火します。

◎天ぷら油の過熱を未然に防止します。

天ぷら油過熱防止機能 (コンロ)

- 油の温度が約250℃に保つよう、自動で強火と弱火を繰り返し、過熱による発火を防ぎます。
- ただし、自動火力調節している状態が約30分続くと自動消火します。
- ※約250℃以上になる場合は、約3分を経過する前に自動消火し、タイマー表示部に『02⇐_1または_2』が10回点滅します。
- ※鍋の種類や油の量によって自動消火時の油の温度は異なります。
- ※高温炒めモード使用時は、この機能ははたらきません。

注意

- 天ぷら油過熱防止機能がはたらいたときは、鍋や油の温度が相当高くなっているため注意するやけどやけがの原因になります。

◎煮ものなどの焦げつきを初期段階で検知し、自動消火します。

焦げつき自動消火機能 (コンロ)

- 鍋底が焦げつきはじめたら、自動消火します。
- ※焦げつきの程度は、鍋の材質、火力、調理物によって異なります。
- ※高温炒めモード使用時は、この機能ははたらきません。
- ※弱火から強火に切り替えたときに温度センサーがはたらいで自動消火することがあります。再度点火して使用してください。
- ※焦げつき自動消火機能がはたらいたときは、タイマー表示部に『02⇐_1または_2』が10回点滅します。

◎グリル庫内が過熱すると自動消火します。

グリル過熱防止センサー (グリル)

- グリル庫内やグリル受け皿の温度が異常に高い場合や、連続焼きや空焼きなどで高温になると自動消火します。
- ※グリル過熱防止センサーがはたらいたときは、タイマー表示部に『02⇐_5』が10回点滅します。

注意

- グリル過熱防止センサーがはたらいたときは、グリルとびらガラスやグリル受け皿などの温度が相当高くなっているため注意するやけどやけがの原因になります。

◎点火/消火ボタンを戻し忘れてもブザーでお知らせします。

点火/消火ボタン戻し忘れブザー (コンロ) (グリル)

- タイマーや湯わかしモードなどを使って自動消火したり、安心・安全機能のはたらきにより火が消えたときに、点火/消火ボタンを戻し忘れると、5分おきにブザー音『ピー』でお知らせします。
- 戻し忘れたまま放置すると、乾電池の消耗が早くなります。必ず点火/消火ボタンを押し、「消火の状態」に戻してください。
- ※他のパーナーを使用中は、ブザー音は鳴りません。

コンロを使う準備

モードに応じた鍋の選びかた

鍋などの種類	煮ものど	炒めもの揚げものなど ※7 (油の量: 200mL以上)	便利機能		
			温度キープ モード □7[29] ※7 (油の量: 500~1000mL)	湯わかし モード □7[31] (水の量: 500~2000mL)	炊飯※8 モード □7[33] (ごはん: 1~5合 おかゆ: 0.5~1合)
アルミ製の鍋・文化鍋	○	○	○	○ ※5	○ 深めのもの
ホーロー鍋・ ステンレス製の鍋(厚手) (鍋底厚み2mm以上)	○	○	○	○ ※5	○ ※6 深めのもの
ステンレス製の鍋(薄手) (鍋底厚み2mm未満)	○ ※1	×	×	○ ※5	○ ※1 深めのもの
ステンレス製の無水鍋・ ステンレス製の多層鍋	○ ※2	○	×	○ ※5	×
鉄製の鍋・ 中華鍋・ フライパン	○	○	○ ※3 ※4	×	×
土鍋・ 圧力鍋・ 耐熱ガラス容器	○ ※2	×	×	×	×
やかん	—	—	—	○ ※5	—

○: 適しています。 ×: 適していません。(温度を正しく検知しない場合があります。)

※1: 焦げつきがきつくなります。

※2: 途中消火したり、焦げつく場合があります。

チャオコンロは高温炒めモード(37ページ)にすると途中消火せず使用できます。

ただし、焦げつき自動消火機能がはたらかないため注意してください。

※3: 中華鍋は底の平らな鍋を使用してください。

※4: フライパンは焼きものに使用してください。

※5: 必ずふたをしてください。

※6: ホーロー鍋の場合、焦げつく場合があります。

※7: 揚げもの場合の油の量を示します。

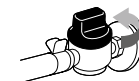
※8: 炊きこみごはんは1~4合。

中華鍋を使うときのお願い

- ・鍋底と温度センサーが密着していることを確かめてから使用してください。
- ・中華鍋の種類によっては、鍋が安定せず、温度センサーが正しくはたらかません。
- ・必ず取っ手を持って調理してください。

1 ガス栓を全開にする

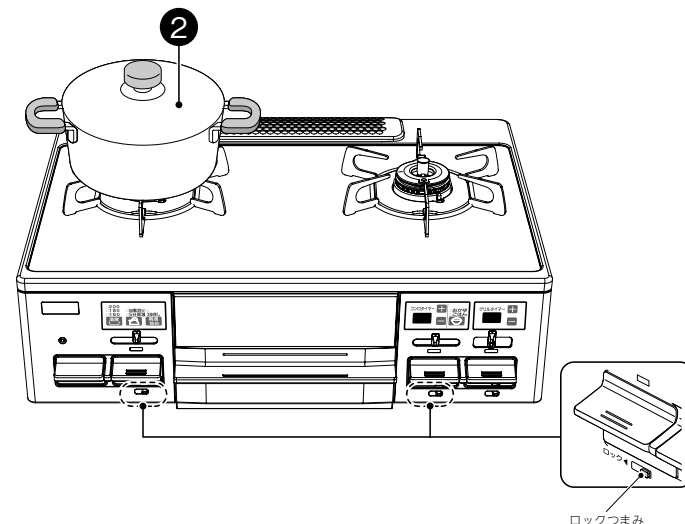
1



全開にする

2 ごとく中央に鍋やフライパンなどを置く

点火前に温度センサーが鍋底に密着していることを確認してください。



ロック機能について

小さなお子さまのいたずらや誤操作を防止するために、点火/消火ボタン毎にロックすることができます。

- ・点火/消火ボタンが「消火の状態」のときにロックつまみを動かすことができます。

※ロックつまみを左にするとロックの設定ができます。

※ロックつまみを右にするとロックの解除ができます。

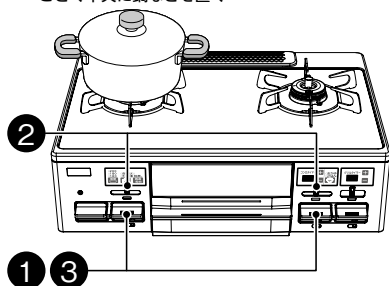


コンロの使いかた（基本操作）

※210-H030型で説明しています。

➡『コンロを使う準備』（23ページ）
をよく読み、準備をする

ごとく中央に鍋などを置く



調理をするときのコツ

炒めもの（野菜炒めなど）、焼きもの（目玉焼き、ハンバーグなど）をする場合は、1分程度予熱する。

※予熱時間が長すぎたり短すぎたりすると、安心・安全機能がはたらき、弱火になったり消火する場合があります。（自動火力調節で弱火になっている場合は、火力を強くしても受け付けません。）



きんぴらごぼう、焼きそばなどは、高温炒めモードで調理する。（37ページ）

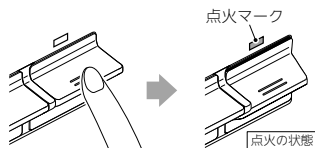
※水分が蒸発しても加熱を続ける料理の場合、焦げつき自動消火機能がはたらき、消火することがあります。

揚げものは温度キープモードで調理する。（29ページ）

※温度キープモードを使わずに多めの油を加熱すると、機器が煮もの調理と判断し、低い温度で自動消火することがあります。

1 点火する

○点火／消火ボタンを止まるまでいっぱい押し、「点火の状態」にしてください。



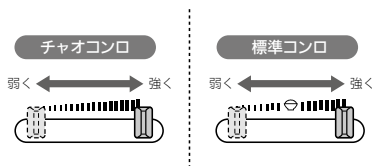
止まるまで
いっぱい押し

点火マークがオレンジ色に変わります。
※点火マークは点火／消火の操作をするだけで色が変わりますので、必ず火がついたことを確認してください。

※火力調節つまみが弱火側（左側）にある場合、つまみは強火側（右側）に動きます。チャオコンロの場合は安全のため、火力調節つまみが強火側（右側）にある場合、つまみは弱火側（左側）へ少し動き、中火点火します。

2 火力調節する

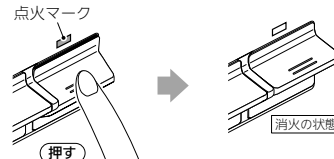
○火力調節つまみを左右にゆっくりとスライドさせてください。



※点火後、約30分毎にブザー音『ピピピッ』で、使用中であることをお知らせします。

3 消火する

○点火／消火ボタンを押し、「消火の状態」にしてください。



押す

点火マークが消えます。

※必ず火が消えたことを確認してください。

ご注意いただきたいこと

鍋などをごとくにのせた状態で、激しく動かさないでください。
トッププレートに**スズ**がつくおそれがあります。

お願い

みそ汁やカレー、ミートソースなど、とろみのある料理を煮たり温めたりするときは、火力を弱めにし、よくかき混ぜてください。
強火で急に温めると、鍋底に沈んだみそやルーなどが突沸現象により突然噴き上がり、鍋がはねあがってやけどをするおそれがあります。
（とくにだし入り豆みそ（赤みそなど）のときは注意してください。）
※突沸現象については、15ページを参照してください。

お知らせ

約120分（高温で自動火力調節している状態の場合は約30分）連続使用すると、消し忘れ消火機能がはたらき自動消火します。
※コンロ消し忘れ消火機能の設定時間は、変更することができます。（43ページ）

ご注意いただきたいこと

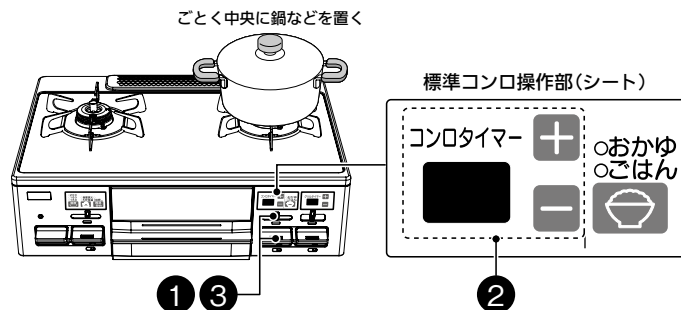
自動消火した場合、点火／消火ボタンを「消火の状態」に戻し忘れたまま放置すると、乾電池の消耗が早くなります。
必ず点火／消火ボタンを押し、「消火の状態」に戻してください。（22ページ）

タイマーモード (標準コンロ)

※210-H030型で説明しています。

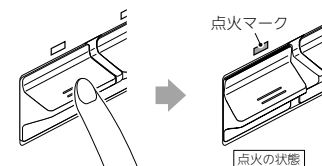
➡『コンロを使う準備』(23ページ)
をよく読み、準備をする

◎コンロ使用時は、その場を離れない



① 点火し、火力調節する

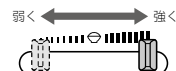
○点火／消火ボタンを止まるまでいっぱい
に押し、「点火の状態」にしてください。



止まるまで
いっばいに押す

点火マークがオレンジ色に変わります。(25ページ)

○火力調節つまみを左右にゆっくりとスラ
イドさせてください。



② タイマーを設定する

○+, -キーを押して、タイマーを設定してください。



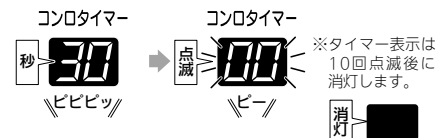
・1分刻みで1～99分(最長)に設定できます。
※押し続けると、10分刻みで変わります。
※調理中でも、タイマーの変更は可能です。
※タイマーを取り消すときは、一旦消火してください。
※炊飯モード中は設定できません。

タイマーが終了すると、 自動で火が消える

終了30秒前

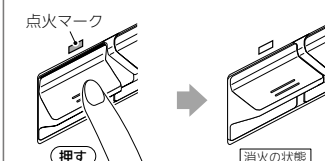
終了

自動消火



③ 消火の状態に戻す

○点火／消火ボタンを押し、「消火の状態」に
してください。



点火マークが消えます。

ご注意いただきたいこと

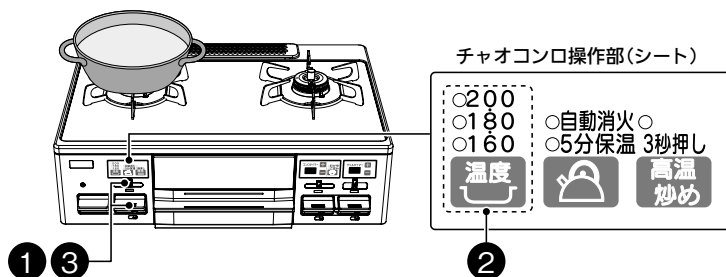
自動消火した場合、点火／消火ボタンを「消
火の状態」に戻し忘れたまま放置すると、乾
電池の消耗が早くなります。
必ず点火／消火ボタンを押し、「消火の状態」に
戻してください。(22ページ)

温度キープモード (チャオコンロ)

※210-H030型で説明しています。

➡『コンロを使う準備』(23ページ)
をよく読み、準備をする

ごとく中央に鍋などを置く



揚げものに適した鍋	適した油の量
直径：18～24cm 材質：鉄、アルミ 種類：天ぷら鍋 中華鍋 (底が平らなもの)	500～1000mL

◎コンロ使用時は、その場を離れない

ご注意ください

- 油の温度は鉄製天ぷら鍋を基準に設定しています。鍋の種類、材質、大きさや厚み、油量などにより、設定温度と異なったり温度変化が大きくなる場合があります。
- 油の温度が高い状態で温度設定したり途中で油を足すと、設定温度と油の温度が異なる場合があります。
- 焼きものをした場合の焼き色は、フライパンの大きさ、材質、調理内容によって異なります。
- 弱火から強火に切り替わる瞬間、炎が大きくなりますので注意してください。
- 調理中に設定温度を下げた場合、設定温度に下がるまで時間がかかり、その間点滅が続きます。複数の揚げものをするときは、温度設定の低いものから調理してください。
- 一度に揚げる量は、油の表面積の半分程度にしてください。調理物を入れすぎると、温度調節がうまくできなくなります。
- 設定温度になっても調理物を入れないと、設定温度より調理油の温度が上昇することがあります。

焼きものにも便利

ハンバーグやギョーザ、ホットケーキなど揚げつきやすい焼きものも、温度キープモードの温度調節を使えば簡単です。ほどよい焼き色に焼きあげます。

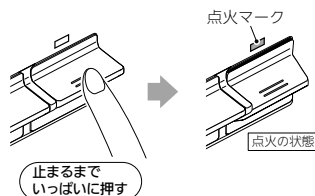
揚げもののコツ

次のような下ごしらえをすると、油の飛び散りをおさえることができます。

- ・イカ
皮をむき、両面に切り目を入れる。
- ・エビ
尾は先を切る。
- ・ししとう(中が空洞の野菜など)
切り目を入れる。
- ・うずら(ゆで卵など)
串などで刺す。
- ・ドーナツ
生地には、必ずベーキングパウダーや砂糖を入れる。
- ・魚介類や野菜など
水分をふき取る。

1 点火し、火力調節する

○点火／消火ボタンを止まるまでいっぱい
に押し、「点火の状態」にしてください。



点火マークがオレンジ色に変わります。(25ページ)

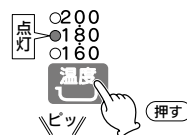
○火力調節つまみを右にゆっくりとスラ
イドさせてください。



※火力は中火以上で鍋の径に応じて、炎があ
ふれない程度に調節してください。
ただし、火力を弱火で使用しますと、温度
調節機能が正しくはたきません。

2 温度を設定する

○着火後すぐに温度キーを押してください。



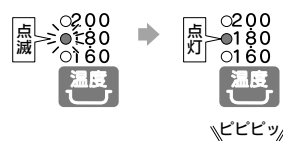
○押すたびに、次のように切り替わります。
(10℃刻みで160～200℃に設定できます。)

180℃	190℃	200℃	160℃	170℃	解除
点灯 200 180 160	点灯 200 180 160	点灯 200 180 160	点灯 200 180 160	点灯 200 180 160	点灯 200 180 160
ビッ	ビッ	ビッ	ビッ	ビッ	ビッ

・設定すると表示が点灯し、数秒後に点滅に変わります。設定温度になるまで点滅が続きます。
※調理中でも、温度の変更は可能ですが、設定温度を下げた場合、設定温度に下がるまで時間がかかり、その間点滅が続きます。
※設定を解除しても消火しません。

調理する

○設定温度になると、点滅から点灯に変わり、ブザー
音『ビビビッ』でお知らせします。
調理を始めてください。



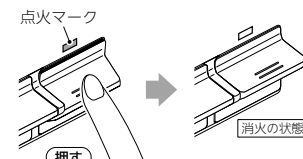
・自動的に強火と弱火を繰り返し、設定した温度を保ちます。

設定温度のめやす

	160℃	170℃	180℃	190℃	200℃
揚げもの	冷凍食品(コロッケなど)・天ぷら	手作りコロッケ	フルトン		
揚げもの	どりのからあげ・フライ・とんかつ				
揚げもの	ドーナツ・フリッター				
揚げもの	ギョーザ・お好み焼き				
揚げもの	ホットケーキ				
揚げもの	オムレツ				
揚げもの	ハンバーグ				

3 消火する

○点火／消火ボタンを押し、「消火の
状態」にしてください。



点火マークが消えます。



※必ず火が消えたことを確認してください。

ご注意ください

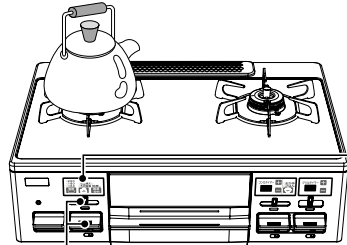
自動消火した場合、点火／消火ボタンを
「消火の状態」に戻し忘れたまま放置する
と、乾電池の消耗が早くなります。
必ず点火／消火ボタンを押し、「消火の状
態」に戻してください。(22ページ)

湯わかしモード (チャオコンロ)

※210-H030型で説明しています。

『コンロを使う準備』(23ページ)をよく読み、準備をする

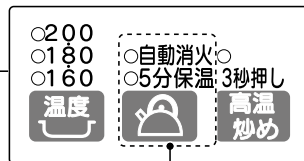
ごとく中央にやかんなどをふたをして置く



1 3

通した鍋	通した水の量
やかん 底の平らな鍋	500~2000mL ※ふきこぼれを防ぐために、やかんや鍋の大きさに応じた水量(最大容量の6~7割)にしてください。

チャオコンロ操作部(シート)



2

ご注意していただきたいこと

- ・火力はやかんや鍋の径に応じて、炎があふれない程度に調節してください。
 - ・お湯から湯わかしモードを使用した場合は、ふっとうしてから消火や弱火になるまで時間を要する場合や、ふっとうする前に消火する場合があります。
 - ・やかんや鍋の材質、形状、水の量などにより消火や弱火になるタイミングが異なる場合があります。
- ※水の量が多すぎるとふきこぼれる場合がありますので、やけどなどに注意してください。

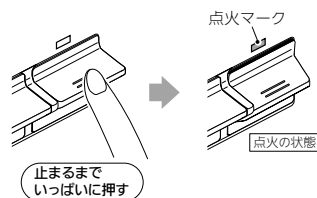
湯わかしするときのお願い

温度センサーを正しくはたらかせるために、次のことを守ってください。

- ・やかんや鍋にふたをする
- ・やかんや鍋のふたを開閉しない
- ・やかんや鍋を動かさない
- ・水をかき混ぜない
- ・途中で水を入れたり具を入れない
- ・途中で火力を変えない

1 点火し、火力調節する

○点火/消火ボタンを止まるまでいっぱい押し、「点火の状態」にしてください。



点火マークがオレンジ色に変わります。(25ページ)

○火力調節つまみを左右にゆっくりとスライドさせてください。



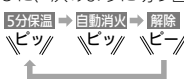
※火力は中火以上でやかんや鍋の径に応じて、炎があふれない程度に調節してください。ただし、火力を弱火で使用しますと、ふっとうする前に保温になったり、消火したり、湯わかしモードの機能が正しくはたらかません。

2 湯わかしを設定する

○着火後すぐに5分保温を設定してください。



○押すたびに、次のように切り替わります。



※設定を解除しても消火しません。

○着火後すぐに自動消火を設定してください。

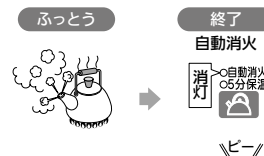
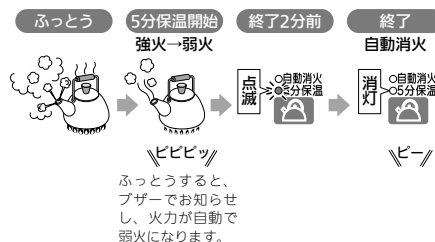


○押すたびに、次のように切り替わります。



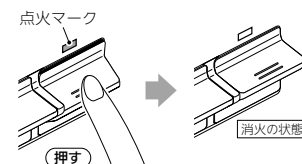
※設定を解除しても消火しません。

自動で火が消える



3 消火の状態に戻す

○点火/消火ボタンを押し、「消火の状態」にしてください。



点火マークが消えます。

ご注意していただきたいこと

自動消火した場合、点火/消火ボタンを「消火の状態」に戻し忘れたまま放置すると、乾電池の消耗が早くなります。必ず点火/消火ボタンを押し、「消火の状態」に戻してください。(22ページ)

炊飯モード（標準コンロ）

下準備

1 お米を正確にはかる

- 計量カップやはかりで、炊飯したいお米の量を正しくはかる。

1回で炊ける量

ごはん	1～5合
炊きこみごはん	1～4合
おかゆ	0.5～1合

例) 180mLの計量カップ



すり切りいっぱい、
お米1合です。

2 お米をとぐ

- たっぷりの水でさっとかき混ぜ、水を素早く捨てる。
- 一度目のとき水はすぐに流す。
※ぬかを含んだ最初のとき水を、乾いたお米が吸わないようにしてください。
- 「とぐー洗い流す」を素早く数回繰り返す。
※といだあとのお米は、よく水を切ってください。
※お米をとき足りない場合は、においや着色および、ふきこぼれの原因になり、炊飯がうまくできない場合があります。

3 お米に水を含ませる

お米と水の量のめやす

- ごはんのかたさを調節するときは、水量で調節する。
※増減する水量のめやすは、±10%程度にしてください。
※炊きあがりはお米の種類や質、鍋の種類や水温などによって異なりますので、お好みに応じて加減してください。

ごはん

お米の量	水の量
1.0合 (150g) (180mL)	約300mL
1.5合 (225g) (270mL)	約400mL
2.0合 (300g) (360mL)	約500mL
2.5合 (375g) (450mL)	約600mL
3.0合 (450g) (540mL)	約700mL
3.5合 (525g) (630mL)	約800mL
4.0合 (600g) (720mL)	約900mL
4.5合 (675g) (810mL)	約1000mL
5.0合 (750g) (900mL)	約1100mL

※炊きこみごはんの場合は、お米に水分を吸収させるため、調味料は炊く直前に入れてください。
具はお米の上にのせて炊いてください。

おかゆ

お米の量	水の量
0.5合 (75g) (90mL)	約700mL
1.0合 (150g) (180mL)	約1000mL

※おかゆは七分がゆ程度の炊きあがりです。

お米を水に浸す時間

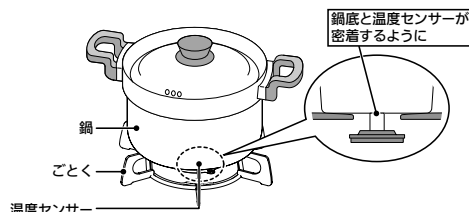
- 洗米したあと必ず30分以上、水に浸す。(冬場は1時間以上)
※といだあと、すぐに炊飯をするとごはんがかためになります。
※ごはんには芯が残るので、お湯を使わないでください。
※一度水に浸したお米は砕けやすくなり、砕け米が混じることがあります。
砕け米、粉末などが混ざった状態で炊飯すると、炊きムラや焦げの原因になります。

無洗米を炊くときのコツ

- 1～2回すすぐ。
※にごったまま炊飯すると、でんぷん質が沈殿し、上手に炊けない原因になります。
- 洗米したあと必ず30分以上、水に浸す。(冬場は1時間以上)
- 水の量を3%程度多くする。または、無洗米専用の計量カップを使う。
- よく混ぜて気泡をとばす。
※水を加えただけでは、表面に気泡ができ、水が吸収されず上手に炊けない原因になります。

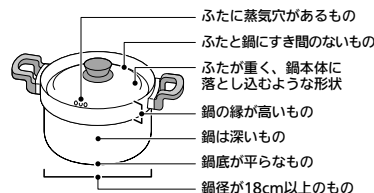
4 鍋をセットする

- 水に浸した状態のお米が入っている鍋を、正しくごとくに置く。
※温度センサーの上面や、鍋底に異物がないことを確認し、鍋底の中心が温度センサーに密着するように正しくセットしてください。



炊飯モードに適した鍋

- おいしく炊くために、炊飯に適した鍋を選ぶ。
※市販の炊飯鍋などでも炊くことができます。



炊飯モード (標準コンロ)

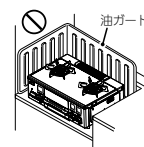
※210-H030型で説明しています。

『コンロを使う準備』(23ページ)
『炊飯モード下準備』(33ページ)
をよく読み、準備をする



ご注意いただきたいこと

- ・エアコンや扇風機などの風がコンロに当たると、途中消火したり、炊きムラの原因になります。風が当たらないように風向を調節してください。
- ・機器を囲う油ガードなどを設置すると排気の流れが変わるため、燃焼不良となり、炊きムラなどの原因になります。炊飯時は油ガードなどを取り除いてください。
- ・炊飯途中で、水をたしたり、鍋のふたを開けたりしないでください。また、炊飯の途中で炊飯モードを切り替えたり、他のキーやボタンを押さないでください。うまく炊けない場合があります。
- ・ごはんの場合は、自動消火後むらし(約10分)を必要とします。むらしをしないとうまく炊きあがりません。
- ・炊きこみごはんの場合は、お米に水分を吸収させるため、調味料は炊く直前に入れてください。具はお米の上のせて炊いてください。また、白米に比べ焦げやすくなります。



おかゆについて

おかゆモードはお米からおかゆをつくる機能です。

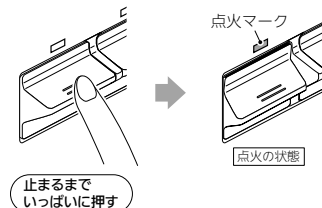
※ごはんからおかゆをつくる場合は、炊飯モードを使用しないで、下記を参考に手動で調理してください。
※おかゆの味付けは、自動消火してから行ってください。最初から、または炊飯途中で調味料や具を入れると、うまく炊けない場合があります。

ごはんからおかゆの炊きかた(2人分(茶わん約2杯分:300g)の例)

- (1) 冷やごはんはザルに入れ、流水でサッと洗ってほぐす。(ぬめりをとります。)
- (2) 鍋に水(4カップ強)とごはんを入れ強火で炊く。
- (3) 煮立ったらアクを取り、弱火で10~15分炊く。
- (4) 消火し、好みに応じて塩を少々加え、数回かき混ぜてできあがり。

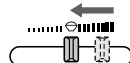
1 点火し、火力調節する

○点火/消火ボタンを止まるまでいっぱい押し、「点火の状態」にしてください。



点火マークがオレンジ色に変わります。(25ページ)

○着火後すぐに、火力調節つまみをゆっくりと強火側から弱火側の位置(あたりがあります)にスライドさせて合わせてください。



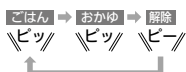
※火力調節つまみを弱火側の位置に合わせないと、うまく炊けない場合があります。

2 炊飯を設定する

○着火後すぐにごはんを設定してください。



○押すたびに、次のように切り替わります。



※設定を解除しても消火しません。

○着火後すぐにおかゆを設定してください。

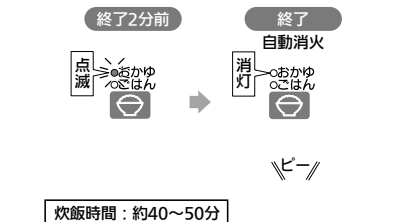
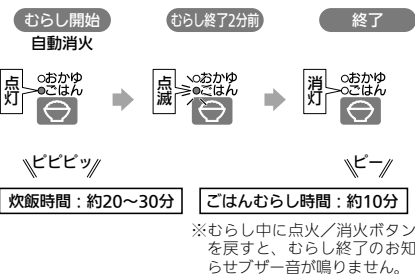


○押すたびに、次のように切り替わります。



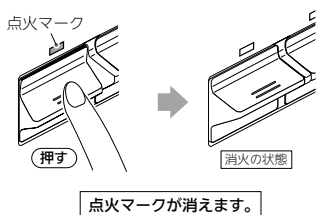
※設定を解除しても消火しません。

自動で火が消える



3 消火の状態に戻す

○点火/消火ボタンを押し、「消火の状態」にしてください。



※ごはんの場合は、むらし終了後、ごはんをほぐしながら底からよくかき混ぜてください。余分な水分がとび、ごはんがおいしくなります。

ご注意いただきたいこと

自動消火した場合、点火/消火ボタンを「消火の状態」に戻し忘れたまま放置すると、乾電池の消耗が早くなります。必ず点火/消火ボタンを押し、「消火の状態」に戻してください。(22ページ)

高温炒めモード (チャオコンロ)

◎コンロ使用時は、その場を離れない

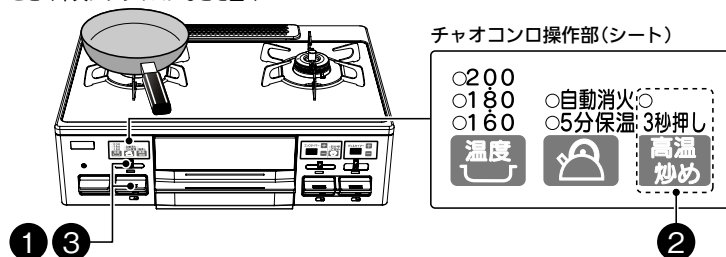
・直火調理(あぶりもの)、いりもの、炒めもの(鍋をひんぱんに上げる料理)をする場合などは、**高温炒めモード**をお使いください。

※海苔やスルメなどの直火調理(あぶりもの)をする場合は、点火後に高温炒めを設定して、あぶってください。

※210-H030型で説明しています。

➡『コンロを使う準備』(23ページ)をよく読み、準備をする

ごとく中央にフライパンなどを置く



警告



高温炒めモードを使用するときは、揚げものなどの調理はしない
天ぷら油過熱防止機能が作動せず、調理油が発火し、火災の原因になります。

注意



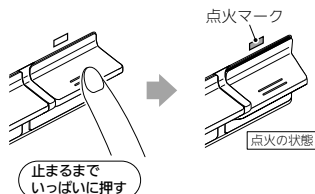
直火調理(あぶりもの)をする場合は、温度センサーの真上を避ける
温度センサー上に焼き汁などが滴下しないよう、温度センサーの真上は避けて調理してください。
温度センサーが汚れると、鍋底の温度を正しく検知できず、発火や途中消火、機器焼損の原因になります。
また、焼き汁の滴下量や位置により、温度センサーの故障の原因になります。

お知らせ

約60分(高温で自動火力調節している状態の場合は約30分)連続使用すると、消し忘れ消火機能がはたらき自動消火します。
※使用中に高温炒めモードを解除して、さらに使用する場合は、はじめに点火してから約120分(高温で自動火力調節している状態の場合は約30分)経過すると、消し忘れ消火機能がはたらき自動消火します。
※コンロ消し忘れ消火機能の設定時間は、変更することができます。(43ページ)

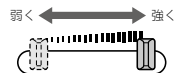
1 点火し、火力調節する

○点火/消火ボタンを止まるまでいっぱい押し、「点火の状態」にしてください。



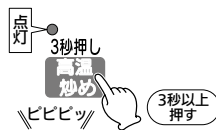
点火マークがオレンジ色に変わります。(25ページ)

○火力調節つまみを左右にゆっくりとスライドさせてください。



2 高温炒めを設定する

○高温炒めキーを3秒以上押してください。



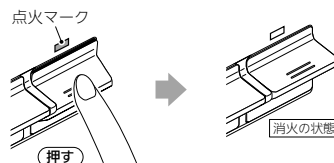
○取り消すときは、再度、高温炒めキーを押してください。



※設定を解除しても消火しません。

3 消火する

○点火/消火ボタンを押し、「消火の状態」にしてください。



点火マークが消えます。



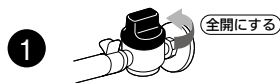
※必ず火が消えたことを確認してください。

ご注意いただきたいこと

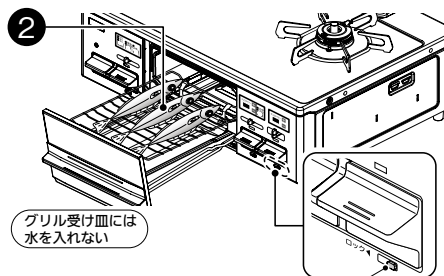
自動消火した場合、点火/消火ボタンを「消火の状態」に戻し忘れたまま放置すると、乾電池の消耗が早くなります。
必ず点火/消火ボタンを押し、「消火の状態」に戻してください。(22ページ)

グリルを使う準備

1 ガス栓を全開にする



2 調理物を入れて、グリルとびらを閉める



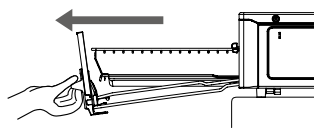
△注意



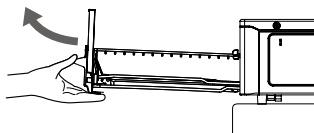
グリルとびらを開けた状態でグリルを点火しない
炎や熱で顔や手などに、やけどをするおそれがあります。

グリルの取り出しかた

1 グリルとびらをゆっくりと止まるところまでいっばいに引き出す。(グリルとびらだけが下がります。)



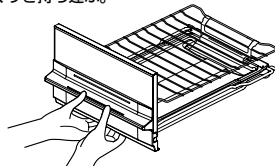
2 グリルを持ち上げて取り出す。



お知らせ

- ・グリル焼網とグリル受け皿は、キズつけないように気をつけてください。キズがつくと、表面に施されたフッ素コート(グリル焼網)やクリアコート(グリル受け皿)がはがれる原因になります。
- ・グリル焼網、グリル受け皿、グリルとびらの取り外しかたは、47ページを参照してください。

3 グリルとびらを両手でしっかりと持ち、ゆっくりと持ち運ぶ。



はじめてグリルを使うとき

- ・梱包部材が入っていないか確認してください。
- ・グリル庫内の金属部品に残った加工油を焼き切るため、グリル焼網を取り出し、グリルとびらを閉め、強火(上火:「強火」・下火:「強火」)で約8分空焼きしてください。煙やにおいが出る場合がありますが、異常ではありません。
- ・空焼きしているときに、グリル過熱防止センサーが作動し、自動消火する場合があります。
- ・消火した場合(タイマー表示部「02⇄_5」点滅表示)は、点火/消火ボタンを押し、「消火の状態」に戻し、しばらく(約3分)待ってから再度点火してください。

△注意



グリル焼網の取り付けをするときは、グリルが冷めてから行う
やけどのおそれがあります。

食材の準備

魚の下ごしらえ

- ・冷凍の魚はしっかりと解凍する。
- ・冷蔵の魚は常温でしばらくおく。
- ※しっかりと解凍して、常温しておかないと、調理時間がかかり、生焼けになったり、安心・安全機能がはたらく場合があります。
- ・生魚は、水洗いしたあと、水気をよくふき取る。
- ・みそ漬けや、かす漬けの魚は、みそやかすをよくふき取る。



魚以外の下ごしらえ

- ・なすや、ししとうなどの野菜は、表面に切り目を入れる。
- ・鶏肉など、脂の多い食材は、フォークなどで皮に穴を開け、皮を上にして焼く。
- ※切り目や穴を開けずに焼いた場合、食材に火がついて、庫内で発火するおそれがあります。



塩焼きの下ごしらえ

- 材料にあった塩加減(魚の重量の2%程度)が必要です。塩をつけると、身がしまって身崩れしにくくなります。身の厚いところには厚く、薄いところには薄くつけます。
- ・さばやいわしなど脂肪分の多い背の青い魚は、多めに塩をして、おき時間は長めにする。
 - ・白身魚は、少なめに塩をして、おき時間は短めにする。
 - ・川魚や、いか、えび、貝などは、焼く直前に塩をふる。

姿焼きなどの場合

- ・尾やヒレはとくに焦げやすいので、多めに塩をつけたり、アルミはくで包む。
- ・切り目を入れる。
- ※切り目を入れると、火の通りがよくなり、皮が破れることによる脂の飛び散りも少なくなることができます。



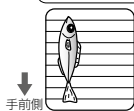
魚を焼くときは

姿焼きの場合

- ・魚は頭が奥に、尾が手前になるように置くと尾の焦げは少なくなります。

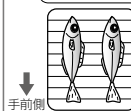
姿焼き1尾の場合

左寄りに置く



姿焼き2尾以上の場合

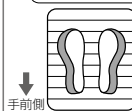
均等に置く



切身の場合

- ・皮側を上向きにし、身の厚い部分が奥になるように置いてください。

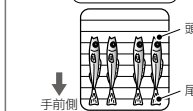
身の厚い部分が奥



ししゃもなどの小さな魚の場合

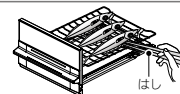
- ・尾が焦げやすいので、グリル焼網の手前側に置いてください。

尾を手前側に



魚を取るときのコツ

- ・はしをグリル焼網と平行に入れると、グリル焼網に付着した魚がはがしやすくなります。



△警告



グリル排気口の上に、ふきんやタオル、アルミはくなどをのせたり、ふさがない
グリル排気口の周りには、ものを置かない
火災や不完全燃焼の原因になります。



脂が出る料理には、グリル焼網の上や下にアルミはくを敷かない
アルミはくの上に脂がたまり、発火する原因になります。

※鶏肉や脂のつたさんまなどは、脂が多く出ます。
また、グリル上火バーナーの炎口がつまり、燃焼不良、途中消火の原因になります。

△注意

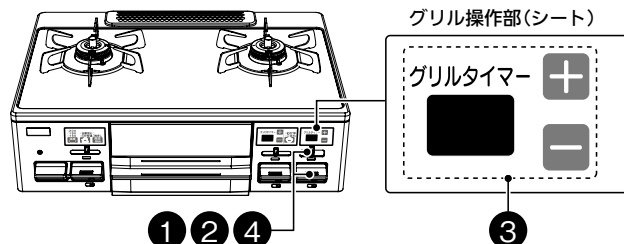


調理物を取るときなどは、必ず消火し、グリル部周辺に触れない
とくにグリルとびらなどが熱くなっており、やけどの原因になります。

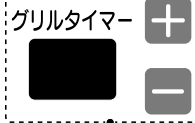
グリルの使いかた

※210-H030型で説明しています。

『グリルを使う準備』(39ページ)
をよく読み、準備をする



グリル操作部(シート)



形くずれを防止するコツ

2分程度予熱後、一旦消火してから、グリル焼網にサラダ油を塗ってください。
その後、魚をグリル焼網にのせて再度点火し、火力を調節してタイマーを設定してください。(詳しくは付属のクッキングブックをご覧ください。)



警告

必ず守る 鶏肉などの脂の多い食材を調理するときは、上下の火力を『弱火』にして焼くようにする。グリル受け皿にたまった脂に引火し、火災のおそれがあります。

注意

必ず守る 焼きすぎに注意する。魚に火がつき火災の原因になります。グリル庫内で魚などが燃えたり、たまった脂に引火した場合は、すぐに点火/消火ボタンを押して消火してください。

ご注意いただきたいこと

- 連続の使用などでグリル庫内が高温になると、安全のため消火します。グリル過熱防止センサーがはたらいて消火した場合(タイマー表示部「02」や「5」点滅表示)は、しばらく(約3分)待ってから再度点火してください。
- 脂の多い魚を焼いているときは、煙が多く出る場合があります。

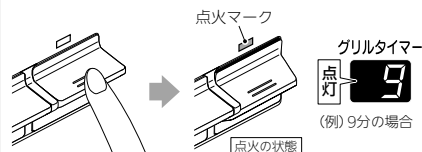
次の魚は、とくに焼きすぎに注意してください。

- 干物や薫製、脂分の多い魚(にしん、塩さばなど)
発火しやすいので、調理中はグリル庫内の状態に十分注意してください。
- 小魚の干物(めざし、うるめなど)
焼き時間のめやすは2〜3分です。(グリル庫内の温度が高い場合は1分程度。)

焼きすぎた場合、魚やたまった脂が燃えて、火災のおそれや機器焼損の原因になります。

1 点火する

○点火/消火ボタンを止まるまでいっぱい押し、「点火の状態」にしてください。



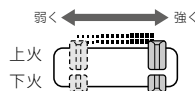
点火マークがオレンジ色に変わります。(25ページ)

○着火すると、グリルタイマーがスタートします。

- ※下火の火力調節つまみが弱火側(左側)にある場合、つまみは強火側(右側)に動きます。上火の火力調節つまみは動きません。
- ※グリル庫内の温度に応じて、6〜9分を自動的に設定します。(設定は変更できます。)
- ※グリルタイマーは安全のため、解除できません。

2 火力調節する

○火力調節つまみを左右にゆっくりとスライドさせてください。



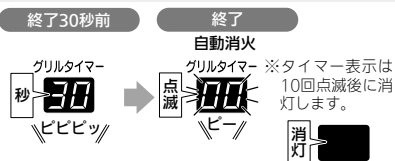
3 タイマーを設定する

○+、-キーを押して、タイマーを設定してください。



1分刻みで1〜15分(最長)に設定できます。
※調理中でも、タイマーの変更は可能です。
※連続使用可能時間は15分です。

タイマーが終了すると、自動で火が消える



4 消火の状態に戻す

○点火/消火ボタンを押し、「消火の状態」にしてください。



※タイマー表示は10回点滅後に消灯します。

ご注意いただきたいこと
自動消火した場合、点火/消火ボタンを「消火の状態」に戻し忘れたまま放置すると、乾電池の消耗が早くなります。
必ず点火/消火ボタンを押し、「消火の状態」に戻してください。(22ページ)

設定の変更 (カスタマイズ機能)

◎設定時は、必ず機器を使用していない状態にする

コンロ消し忘れ消火機能の設定時間を変更することができます。

・初期設定(工場出荷時)は、『120分』に設定されています。

1 ガス栓を閉める

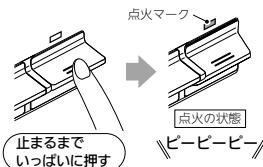


2 コンロを「点火の状態」にする

いずれかのコンロの点火ノ消火ボタンを止まるまでいっばいに押し、「点火の状態」にしてください。

※スパーク(パチパチ)しますので、ガス栓を開けても、配管内に残ったガスにより、着火する場合がありますため、注意してください。

※着火しないため、ブザー音『ピーピーピー』でお知らせし、グリルタイマー表示部に『11⇄_1または_2』が点滅表示されます。



3 設定時間を変更できる状態にする

点火操作後10秒以内に、グリル操作部のグリル用+、-キーを同時に3秒以上押す。



4 設定時間を変更する

押す毎に、ブザー音『ピ』でお知らせします。

※30～120分の間で、10分刻みで設定できます。

＋キー：10分ずつ増え、最長『12』(120分)まで設定できます。
－キー：10分ずつ減り、最短『3』(30分)まで設定できます。

例)『90分』に設定する場合



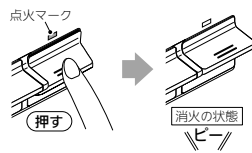
※コンロ消し忘れ消火機能の設定時間を変更した場合、高温炒めモード時の連続使用可能時間も、下表のように変更となります。

タイマー表示	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
コンロ消し忘れ消火機能時間	30分	40分	50分	60分	70分	80分	90分	100分	110分	120分
高温炒めモード時連続使用可能時間	30分	40分	50分	60分	60分	60分	60分	60分	60分	60分

5 「消火の状態」にする

点火ノ消火ボタンを押し、「消火の状態」にしてください。

※ブザー音『ピー』でお知らせし、設定した時間に変更されます。



6 ガス栓を全開にする



お手入れ (その前に)

・ご使用上支障がない場合でも、不慮の事故を防ぎ、安心してより長くご使用いただくために、年1回程度の定期点検(有料)をおすすめします。

また、煮こぼれや、誤って鍋をひっくり返すなど、機器内に多量の煮汁などが入った場合は、機器の故障や、機器寿命が短くなるおそれがありますので、点検(有料)をおすすめします。

※定期点検については、お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガス(別紙お問い合わせ先一覧表)にお問い合わせください。

⚠注意



- ・お手入れは、ガス栓を閉め、機器が冷めてから手袋をはめて行うとくにグリル排気口の内側(奥側)、グリル庫内、コンロ下(コンロ台)をお手入れするときは、十分注意するやけどや機器の突起物などだけがを原因になります。
- ・点火ノ消火ボタンをロックする(24ページ参照)誤って点火ノ消火ボタンを押すと、やけどの原因になります。
- ・お手入れ後は、機器およびグリル庫内にふきん・紙類などを置き忘れているか必ず確認する火災の原因になります。

お手入れ道具、洗剤について

使ってよい	使ってはいけない
トッププレート(ガラス面)のみ スポンジたわし やわらかい布 やわらかい歯ブラシ 台所用中性洗剤 クリームクレンザー メラミンスポンジ	キズの原因になるもの ナイロンたわし 電の手たわし 金属たわし スポンジたわし裏面 ミガキ粉 クレンザー 歯みがき粉 硬い歯ブラシ クリームクレンザー 変質の原因になるもの 漂白剤、酸性洗剤、アルカリ性洗剤 シンナー、ベンジン、アルコール 弱酸性洗剤、弱アルカリ性洗剤 重曹 重曹 故障の原因になるもの スプレー式洗剤 火災の原因になるもの 可燃性スプレー、浸透液、潤滑剤
※表面のキズ、はがれ、欠け、変色、変質、さび、割れの原因になります。	※表面が変質し、はがれ、変色、さび、割れ、トッププレート外周枠のはがれの原因になります。
※直接かけて使用すると機器内部に洗剤が入り、故障の原因になります。必ずやわらかい布やスポンジたわしなどに含ませてから使用してください。	※引火するので、絶対に使用しないでください。

お手入れするときのお願い

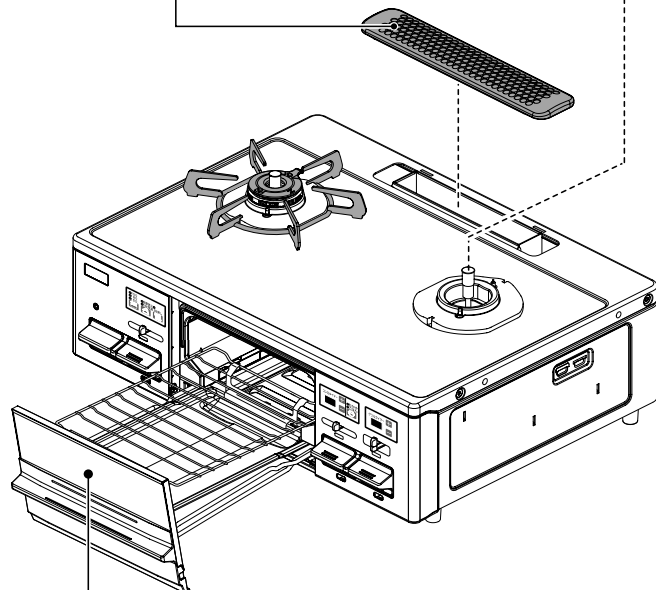
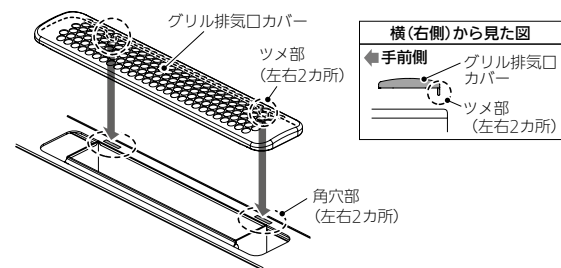
- ・汚れたままにすると汚れがこびり付き、取れにくくなりますので、ご使用の都度お手入れしてください。
- ・煮こぼれをそのまま放置するとお手入れする部品が固着し、外れにくくなったり、故障の原因になります。
- ・※とくに砂糖などを含んだ濃い汁は、すぐにふき取ってください。焼きついて掃除が困難になります。
- ・バーナーキャップ、ごとく、グリル排気口カバー、グリル部品(グリルとびら、グリルスライドレール、グリル焼網、グリル受け皿)は取り外して洗うことができます。それ以外の部品は、絶対に取り外さないでください。

お手入れ (部品の取り外しと取り付け) (コンロ部)

グリル排気口カバー

・ツメ部 (左右2カ所) を角穴部 (左右2カ所) に入れて、浮きがないように取り付けください。

※グリル排気口カバーを正しく取り付けないと、グリル使用時に焼き足りなかったり、焼きムラの原因となります。



グリル部の取り付けと取り外しは、47～48ページ参照。

◎お手入れは、

・機器が冷めていることを確認する ・ガス栓を開める ・点火/消火ボタンをロックする ・手袋をする

◎お手入れをしたあとは、洗剤や水分が残らないようにする

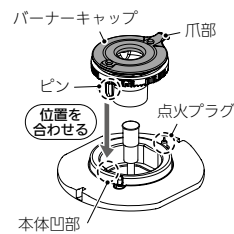
◎部品を取り付けたあとは、浮き (傾き) がないことを確認する

バーナーキャップ、ごとく

バーナーキャップ

・バーナーキャップの爪部を後ろ側にして点火プラグの真上にくるように合わせ、手前側の本体凹部にバーナーキャップのピンを入れて、浮きがないように取り付けください。(点火プラグに衝撃をあたえないようにしてください。)

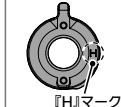
※バーナーキャップはチャオコンロ用と標準コンロ用がありますので、形状を確認して正しく取り付けください。



バーナーキャップの形状

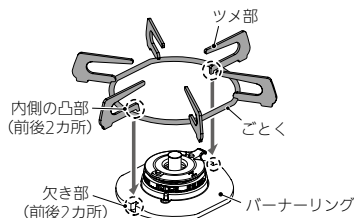
チャオコンロ用

標準コンロ用



ごとく

・ごとく内側の凸部 (前後2カ所) を、バーナーリングの欠き部 (前後2カ所) に入れて、浮きがないように取り付けください。

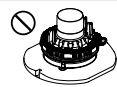
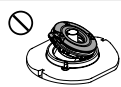


⚠注意



バーナーキャップは正しく取り付ける

誤った取り付けかた (浮き、裏返しなど) で使用すると、
・点火しない場合があります。
・炎のふぞろいや逆火で不完全燃焼。一酸化炭素中毒のおそれや変形の原因になります。
・機器の中に炎がもぐりこんで、焼損する原因になります。
・機器寿命が短くなるおそれがあります。



ごとくは正しく取り付ける

誤った取り付けかた (浮き、裏返しなど) で使用すると、鍋の転倒によるやけど、点火不良、不完全燃焼、変形の原因になります。
また、取り付けの際に衝撃を加えると、トッププレートにキズがつくおそれがあります。



お知らせ

・バーナーキャップ、ごとくは消耗部品です。
バーナーキャップは変形すると炎がふぞろいになります。また、ごとくは、ツメ部がグラグラしていると、鍋などの転倒の原因になりますので、交換してください。
・交換部品 (消耗部品) <有料> として準備しております。(61ページ)
お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガス (別紙お問い合わせ先一覧表) にお問い合わせください。

お手入れ (部品の取り外しと取り付け) (グリル部)

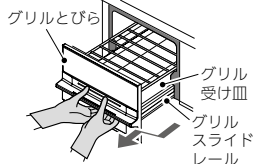
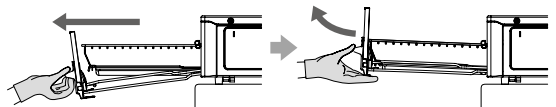
グリル部の取り外しかた

グリル部

・水平にゆっくりと手前に止まるまで引き出し、グリルとびらを少し持ち上げて、引き出すと取り出せます。(グリルとびらを持ち上げて引き出すと、止まることなくグリルとびらが外れるため、落下する場合があります。)

※グリルとびらを全開近くまで引き出すと、グリルとびら全体が下がりますので、注意してください。

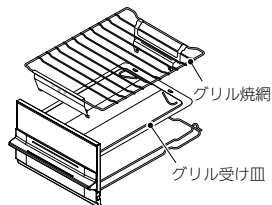
※グリル受け皿にたまった魚の脂などをこぼさないよう注意してください。
※グリルとびらは両手でしっかりと持ち、ゆっくりと運んでください。



グリル焼網、グリル受け皿

・グリル焼網、グリル受け皿の順に一つずつ、取り外す。

※グリル受け皿を取り外すときは、グリル受け皿にたまった魚の脂などをこぼさないよう注意してください。

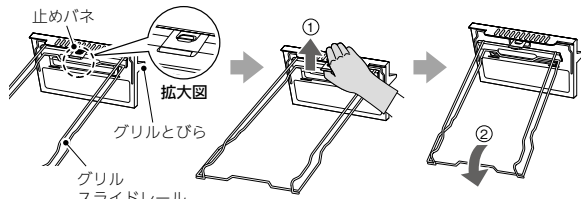
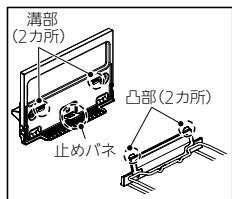


グリルとびら、グリルスライドレール

※上下逆さまから見た図で説明しています。

・グリルスライドレールとグリルとびらを固定している止めバネを図の方向(①)に上げ、グリルスライドレールを図の方向(②)に回転させると、取り外せます。

※無理な取り外しにより、強い力を加えると、溝部(2カ所)、凸部(2カ所)の溝部、止めバネ、グリルスライドレールの凸部の変形や損傷の原因となって、グリルとびらの閉まりが悪くなったり、外れやすくなりますので、注意してください。



お知らせ

・グリル焼網、グリル受け皿は消耗部品です。ご使用状態や経年変化などにより、魚や脂汚れがとれにくくなったり、フッ素コート(グリル焼網)やクリアコート(グリル受け皿)がはがれる場合があります。交換部品(消耗部品) <有料>として準備しております。(61ページ)

お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガス(別紙お問い合わせ先一覧表)にお問い合わせください。

◎お手入れは、

・機器が冷めていることを確認する ・ガス栓を開める ・点火/消火ボタンをロックする ・手袋をする

◎お手入れをしたあとは、洗剤や水分が残らないようにする

◎部品を取り付けたあとは、スムーズに開閉できることを確認する

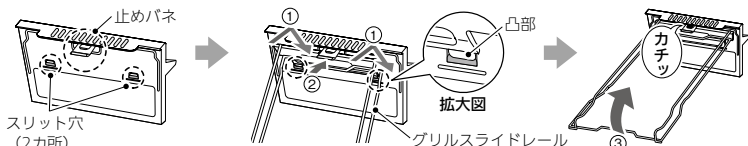
グリル部の取り付けかた

グリルとびら、グリルスライドレール

※上下逆さまから見た図で説明しています。

・グリルとびらのスリット穴(2カ所)にグリルスライドレールの凸部を差し込み(①)、止めバネにそれぞれ(②)、グリルスライドレールを図の方向(③)に回転させると止めバネで、『カチッ』と音が鳴り取り付けられます。

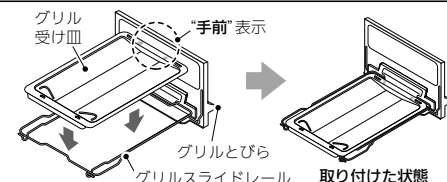
※無理な取り付けにより、強い力を加えると、溝部(2カ所)、凸部(2カ所)、止めバネの変形や損傷の原因となって、グリルとびらの閉まりが悪くなったり、外れやすくなりますので、注意してください。



グリル受け皿

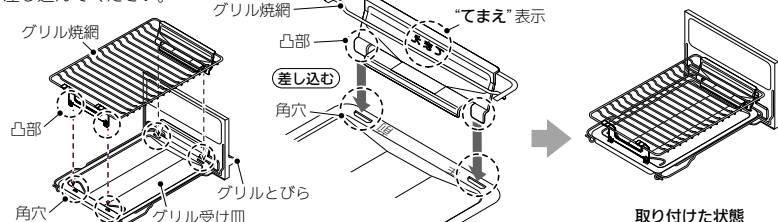
・“手前”と表示している方をグリルとびら側にし、図のようにグリルスライドレールの上にのせてください。

※グリルスライドレールの上にグリル受け皿が図のように取り付けられていないと、グリル受け皿が斜めになり、グリルとびらが入りません。



グリル焼網

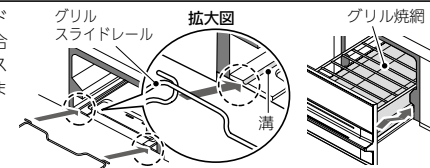
・“てまえ”と表示している方をグリルとびら側にし、グリル受け皿の角穴にグリル焼網の凸部(4カ所)を差し込んでください。



グリル部

・グリルとびらを両手で持ち、グリルスライドレールをグリル庫内底部の左右にある溝に合わせて、グリル庫内に入れたあと、水平にスライドさせ、グリルとびらが完全に閉まるまでしっかりと入れてください。

※イラストは分かりやすくするためにグリル受け皿なしで記載しています。



グリルとびらが閉まりにくい場合やこすれる音がした場合は、グリルとびら、グリルスライドレール、グリル受け皿、グリル焼網が正しく取り付けられていません。そのまま押し込むと、変形や損傷の原因になりますので、再度きっちりと取り付けてください。

お手入れ

トッププレート

- ・水を含ませたスポンジ、布などのやわらかい物でふき取り、水分が残らないように乾いた布でふき取ってください。
- または、台所用中性洗剤を含ませたスポンジ、布などのやわらかい物でふき取り、洗剤が残らないように水ぶきしてください。
- ※煮こぼれした場合は、その都度必ずふき取ってください。煮こぼれを放置されますと、バーナーリングのすき間よりトッププレート内部に煮汁が入り、トッププレートの変色の原因になります。

ガラス部の取れにくい汚れのとき

- ・メラミン樹脂系のスポンジを使用したり、丸めたラップにクリームクレンザーをつけてこすり、ふき取ってください。
- ※クリームクレンザーは常用しないでください。ラップ
- また、ガラス部以外には使用しないでください。
- (塗装のはがれ、色が薄くなる、光沢がなくなるなどの原因になります。)

お願い

トッププレートには、安全に関するラベルが貼り付けてあります。もし、はがれたり、読めなくなった場合は、お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガス(別紙お問い合わせ先一覧表)に連絡してください。貼り替える場合は、トッププレートの汚れをふき取り、同じ場所に貼り付けてください。

バーナー部

バーナーキャップ

- ・台所用中性洗剤を含ませた布やスポンジで汚れをふき取ったあと、洗剤が残らないように水ぶきし、水分が残らないように乾いた布でふき取ってください。
- ※水分が残ったまま取り付けると、点火不良や不完全燃焼の原因になります。

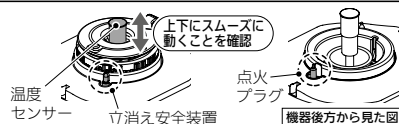
取れにくい汚れのとき

- ・台所用中性洗剤で丸洗いたあと、洗剤が残らないように水洗いし、水分が残らないように乾いた布でふき取ってください。
- 目づまりしたとき
- ・凹部や溝部は、やわらかい歯ブラシなどでお手入れしてください。
- こびり付いた汚れは、つまようじなどで取り除いてください。
- ※目づまりや汚れは、点火不良や不完全燃焼の原因になります。



点火プラグ、立消え安全装置、温度センサー

- ・水を含ませて、かたくしぼった布で煮こぼれなどの汚れをふき取ったあと、水分が残らないように乾いた布で再度ふき取ってください。
- ※温度センサーをお手入れするときは、温度センサーが曲がらないように、片手を添えてください。
- ※洗剤などは使用しないでください。
- ※点火プラグ、立消え安全装置、温度センサーはキズつけたり、衝撃をあたえないようにしてください。位置が変わったり、傾くと安心・安全機能が正しくはたらかないおそれがあります。

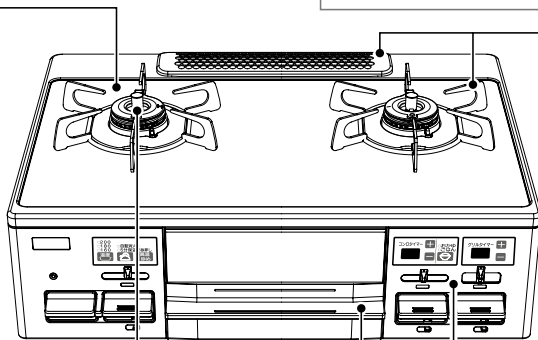


注意

- 温度センサーは、こまめにお手入れし、上下にスムーズに動くことを確認する
- 鍋底に温度センサーが密着しなくなり、調理油が発火する場合があります。また、動きが悪いと鍋などが傾き、お湯などがこぼれ、やけどの原因にもなります。
- 密着しない場合、点検、修理を依頼してください。

◎お手入れは、

- ・機器が冷めていることを確認する
- ・ガス栓を開める
- ・点火/消火ボタンをロックする
- ・手袋をする
- ◎お手入れをしたあとは、洗剤や水分が残らないようにする
- ◎部品を取り付けたあとは、浮き(傾き)がないことやスムーズに開閉できることを確認する



ごとく、グリル排気口カバー

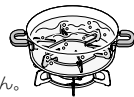
- ・台所用中性洗剤を含ませた布やスポンジで汚れをふき取ったあと、洗剤が残らないように水ぶきし、水分が残らないように乾いた布でふき取ってください。
- ※汚れがついたまま使用すると、汚れが取れにくくなります。

取れにくい汚れのとき

- ・台所用中性洗剤で丸洗いたあと、洗剤が残らないように水洗いし、水分が残らないように乾いた布でふき取ってください。

それでも汚れが取れないとき

- ・煮洗いするとさらに汚れが取れやすくなります。
- 水を入れた大きめの鍋に、ごとくやグリル排気口カバーを入れ、約30分加熱し、冷ましてから水洗いして、水気をふき取ってください。
- ※表面が変色することがありますが、使用上問題ありません。
- ※取り出すときは、やけどなどに注意してください。
- ※ごとく、グリル排気口カバー以外は、煮洗いしないでください。



機器表面、操作部

取れにくい汚れのとき

- ・乾いた布でよくふいてください。
- ・台所用中性洗剤を含ませた布で汚れをふき取ったあと、洗剤が残らないように水ぶきし、水分が残らないように乾いた布でふき取ってください。

グリルとびら、グリルスライドレール、グリル焼網、グリル受け皿

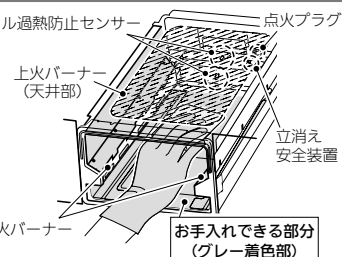
- ・水を含ませたスポンジ、布などのやわらかい物でふき取り、水分が残らないように乾いた布でふき取ってください。
- または、台所用中性洗剤を含ませたスポンジ、布などのやわらかい物でふき取り、洗剤が残らないように水ぶきしてください。
- ※グリルとびら、グリルスライドレールは、取り外してお手入れしてください。そのままお手入れすると、変形や損傷の原因になります。
- ※汚れたまま放置したり、使用したりすると、汚れが取れにくくなり、シミが残ったり、フッ素コート(グリル焼網)やクリアコート(グリル受け皿)のはく離の原因になったり、脂汚れで発火することがあります。
- ※グリルとびら取手には、特殊塗装を施していますが、万一表面の塗装がはがれても使用上問題はありません。

取れにくい汚れのとき

- ・台所用中性洗剤で丸洗いたあと、洗剤が残らないように水洗いし、水分が残らないように乾いた布でふき取ってください。

グリル庫内(側部、底部)

- ・水を含ませたスポンジ、布などのやわらかい物でふき取り、水分が残らないように乾いた布でふき取ってください。
- または、台所用中性洗剤を含ませたスポンジ、布などのやわらかい物でふき取り、洗剤が残らないように水ぶきしてください。
- ※燃焼部(上火バーナー、下火バーナー)には触らないでください。
- ※炎口がつまり燃焼不良、途中消火の原因になります。
- また、グリル庫内の上火バーナー部には、立消え安全装置と点火プラグ、奥の壁部分にはグリル過熱防止センサーが取り付けられていますので、触らないでください。
- 位置が変わったり、傾くと安心・安全機能が正しくはたらかないおそれがあります。
- ※イラストはわかりやすくするために透視図にしています。



よくあるご質問 ①

次の現象に当てはまらないとき、また処置をしてもなお異常があるときは、お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガス(別紙お問い合わせ先一覧表)に連絡してください。

とくに多いご質問です

ご質問	回答	参照ページ
・点火/消火ボタンを押しても、点火しない ・電池交換サインが点滅している	乾電池が消耗しているためです。 新品のアルカリ乾電池(単1形:2個)と交換してください。 乾電池を交換する(電池交換サイン点滅)めやすは約1年です。	21
・ブザー音がする	安心・安全機能がはたらいているためです。 安心・安全機能のはたらきにより火が消えたときに、点火/消火ボタンを戻し忘れると、5分おきにブザー音『ピー』でお知らせします。 戻し忘れたまま放置すると、乾電池の消耗が早くなります。 必ず点火/消火ボタンを押し、「消火の状態」に戻してください。 ※他のバーナーを使用中は、ブザー音は鳴りません。	22
・勝手に火が小さくなったり、火が消えたりする	安心・安全機能がはたらいているためです。 自動的に火力を調節したり、自動消火し、高温になり過ぎることを防止します。 ※調理に支障があるときは、高温炒めキーを押すと、通常時より高温での調理ができます。	22
・高温炒めモードを使用しているのに、勝手に火が小さくなったり、火が消えたりする	安心・安全機能がはたらいているためです。 鍋などの異常過熱を防止するために、温度センサーの温度が上がると、自動的に火力を調節したり、自動消火します。 また、約60分(高温で自動火力調節している状態の場合は約30分)連続使用すると、消し忘れ消火機能がはたらき自動消火します。 ※自動火力調節で弱火になっている場合は、火力を強くしても受け付けません。	37

ご質問	詳細の番号	回答	参照ページ
点火すると他のバーナーも、スパーク(パチパチ)する	—	1カ所の点火操作ですべてのバーナーでスパークします。異常ではありません。	—
点火しない	①② ③④	乾電池が消耗しています。 新しいアルカリ乾電池(単1形:2個)に交換してください。 バーナーキャップが傾いたり、浮いたりしていないか確認し、正しく取り付けてください。 点火/消火ボタンを止まるまでいっぱい押し、「点火の状態」にしてください。	21 18・46 25・41
① 点火しない ② 点火しにくい ③ スパーク(パチパチ)しない ④ 点火してもすぐ消える	①② ③④	アルミはく製する受けはご使用できません。 使用しないでください。 煮こぼれなどによりコンロバーナーの炎口がつまっていたり、点火プラグ、立消え安全装置、バーナーキャップがぬれたり、汚れたりしていると、点火しない場合があります。お手入れしてください。	8 49
	①②	ガス栓を開けていると点火できません。 ガス栓を全開にしてください。 LPガスをご使用の場合、LPガスがなくなりかけているときは、ご使用のLP事業者にお問い合わせください。 長期間使用してなかったり、朝一番など、ガス配管に空気が残っている場合がありますので、点火操作を繰り返してください。	24・39 —

ご質問	詳細の番号	回答	参照ページ
点火しない(続き) ご質問の詳細 ① 点火しない ② 点火しにくい ③ スパーク(パチパチ)しない ④ 点火してもすぐ消える	①③ ② ④	ロックされていると点火できません。 ロックを解除してください。 グリルはコンロにくらべて点火に時間がかかります。異常ではありません。 温度センサーが高温になり、安心・安全機能がはたらいています。温度センサーの温度が下がるまで、点火してもすぐ消火します。しばらく(グリルは約3分)待ってから、再度点火してください。	24 —
炎の状態がおかしい ご質問の詳細 ① 炎が安定しない ② 炎が黄色い、赤い ③ 異常音をたてて燃える、消える ④ 炎が均一でない ⑤ 使用中炎が消える ⑥ 鍋にすすがつく	①② ③④ ⑤ ②④ ⑤⑥ ②⑤ ① ② ⑤	煮こぼれなどによりコンロバーナーの炎口がつまっていたり、点火プラグ、立消え安全装置、バーナーキャップがぬれたり、汚れたりしていると、正常に燃焼しない場合があります。お手入れしてください。 バーナーキャップが傾いたり、浮いたりしていないか確認し、正しく取り付けてください。 風が吹き込んだり、エアコンや扇風機などの風がコンロの炎に当たらないように配慮して使用してください。 アルミはく製する受けはご使用できません。 使用しないでください。 使用中は換気してください。 火力調節つまみをはやく操作すると、炎が赤くなったり、消火する場合があります。異常ではありません。 ゆっくり操作してください。 複数のバーナーを同時に使用すると、炎がゆらぐことがあります。異常ではありません。 加湿器を使用すると水分に含まれるカルシウムが燃えて炎が赤くなることがあります。異常ではありません。 グリル使用時にコンロを使用すると、焼きものの塩分(ナトリウム)やカルシウムが燃えて、コンロの炎も赤くなります。異常ではありません。 火力調節時に一瞬炎が黄色くなったり大きくなる場合があります。異常ではありません。 弱火の状態で使用しているときに、グリルとびらをはやく開閉すると、消火する場合がありますのでゆっくり開閉してください。	49 18・46 9・16 8 9 — — 15
すぐに消火しない	—	バーナー内部に残ったガスが燃焼しているためです。異常ではありません。	—
強火になったとき、一瞬炎が大きくなる	—	バーナー内のガスが一度に出されるためです。異常ではありません。	—
部品が変色する ご質問の詳細 ① 表面が変色する ② ごとくが変色する ③ トッププレートに跡が付く	①② ② ③	酸性やアルカリ性洗剤は使用しないでください。 中性洗剤以外の洗剤をご使用になると、変色する場合があります。 ごとく先端は、炎が当たり、変色したり、ざらざらになります。異常ではありません。 煮洗いや食器洗い乾燥機で洗う場合などは、変色したり、ツヤがなくなる場合がありますが、使用上問題ありません。 ごとくトッププレートが接触している場所に、跡が付くことがあります。ご使用上問題ありません。	44 — — 15
トッププレート表面の模様が薄くなったり、消えたりする	—	ごとくトッププレートが接触している場所では、トッププレート表面のドットや石目などの模様が摩耗することがありますが、ご使用上問題ありません。	—

よくあるご質問 ②

次の現象に当てはまらないとき、また処置をしてもなお異常があるときは、お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガス(別紙お問い合わせ先一覧表)に連絡してください。

ご質問	詳細の番号	回答	参照ページ
点火/消火ボタンから手を放してもスパーク(パチパチ)する	—	点火/消火ボタンから手を放してもスパークが続きます。(最長約5秒)異常ではありません。	—
市販の焼網が使えない	—	焼きなすやもちはグリルで調理してください。グリルに入らない大きななすやパプリカなどは、フォークや金串に刺し高温炒めモードを使用し、コンロ上で直火調理(あぶりもの)してください。(チャオバーナー)	37
コンロ使用時に… ご質問の詳細 ① 調理中に消火する ② 油が高温になっていても自動消火しない ③ 点火してもすぐ消える ④ 自動で火力が変わる ⑤ 鍋底がひどく焦げついて消火する	①②③④⑤	鍋の形状や材質が適しているか確認してください。 鍋底が温度センサーと密着していることを確認してください。 鍋底や温度センサーが汚れていないか確認し、汚れている場合はお手入れしてください。	23 6・11 49
	①③	温度センサーが高温になり、安心・安全機能がはたっています。温度センサーの温度が下がるまで点火してもすぐ消火します。 しばらく待ってから再度点火してください。	22
	①⑤	焦げつき自動消火機能は、鍋の材質や調理により焦げつきの程度が変わります。 ホーロー製の鍋や、カレー、シチュー、カラメル、みそなどの水分が少ない料理は焦げやすくなります。弱火でときどきかき混ぜながら調理してください。	22・23
	①⑤	鍋底が焦げついていないか確認してください。 焦げつきや空だきの場合、焦げつき自動消火機能がはたらくので、自動的に消火します。	22
	①	コンロタイマーが終了すると自動的に消火します。 再度点火してください。	27
	①	点火後約120分(高温で自動的に火力調節している場合は約30分)で自動的に消火し、消し忘れを防ぎます。	22
	①	弱火の状態でグリルとびらをはやく開閉すると、消火する場合がありますのでゆっくり開閉してください。 冷凍した調理物をそのまま調理した場合、調理中に消火することがありますので、解凍してから調理してください。	15
	④	無水鍋や多層鍋、土鍋や耐熱ガラス容器、圧力鍋を使用すると、まれに焦げつき自動消火機能がはたらく、調理中に消火することがあります。	23
	④	鍋の温度が高温になると、過熱防止のため自動的に火力を切り替えます。 弱火と強火を繰り返す、この状態が約30分続くと自動的に消火します。 弱火になると支障のある調理の場合は、高温炒めキーを押すと、高温での調理ができます。	22・37
	⑤	鍋底にこんぶや竹皮などを敷くと焦げつきがきつくなる場合があります。ときどきかき混ぜて火加減し、様子を見ながら調理してください。	—
温度キープモード使用時に… ご質問の詳細 ① 揚げものがうまくできない ② 焼きものがうまくできない ③ 温度設定表示が点滅のまま変わらない	①②	鍋底が温度センサーと密着していることを確認してください。	6・11
	①	油の量は、500~1000mLが適切です。 鍋の形状や材質、油の量によっては油の温度が設定温度より高めになったり低めになったりする場合があります。設定温度を加減してお使いください。	23・29
	②	焼きものをした場合の焼き色は、フライパンの大きさ、材質、調理内容によって異なります。設定温度を加減してお使いください。	30
	③	使用途中に設定温度を下げた場合、設定温度に下がるまで時間がかかり、その間点滅が続きます。	29・30

ご質問	詳細の番号	回答	参照ページ
湯かけしモード使用時に… ご質問の詳細 ① お湯がぬるい ② お知らせが遅い ③ ふきこぼれる	—	鍋が湯かけしに適しているか確認してください。	23・31
	①②③	鍋底が温度センサーと密着していることを確認してください。 水の量は、500~2000mLでやかんや鍋の最大容量の6~7割が適切です。	6・11 23・31
	①②③④⑤	お湯から湯かけしモードを使用した場合は、ふっとうしてから消火や弱火になるまで時間を要する場合や、ふっとうする前に消火する場合があります。 加熱中に鍋を動かしたり、ふたを開閉したり、水をかき混ぜたりすると、お知らせが遅くなったり、ふきこぼれる原因になります。 火力を弱火で使用すると、ふっとうする前に保温になったり、消火する場合があります。 ① エアコンや扇風機などの風がコンロに当たると、途中消火やふっとうする前に保温になったり、消火する場合があります。風が当たらないように風向を調節してください。	32 9・16
炊飯モード使用時に… ご質問の詳細 ① ふきこぼれる ② ごはんがかたい ③ ごはんがやわらかい ④ ごはんが焦げる ⑤ 誤って途中で消火してしまった	—	鍋が炊飯に適しているか確認してください。 鍋底が温度センサーと密着していることを確認してください。	23・34 6・11 34
	①②③④	お米の量や水量を正しく計量してください。 ※炊きこみごはんの場合は、お米に水分を吸収させるため、調味料は炊く直前に入れてください。 具はお米の上にのせて炊いてください。	33
	①②④	火力を炊飯位置に正しく調節してください。 火力が炊飯位置より強火側の場合は、ごはんがかたくなり、弱火側の場合は、やわらかくなります。	35
	①②④	よく洗米してください。 無洗米を使用する場合は、1~2回洗米し、3%程度多めに水をいれて、必ず浸しおきをして炊飯してください。	33 34
	②③	銘柄や産地、保存期間により炊きあがりのかたさや粘り、食味が変わります。 エアコンや扇風機などの風がコンロに当たると、途中消火したり、炊きムラの原因になります。 風が当たらないように、風向を調節してください。	9・16 36
	②	洗米したあと必ず30分以上(冬場は1時間以上)、水に浸してください。 炊飯途中にふたを開けると、うまく炊けない場合があります。	33
	②	自動消火したあと、約10分むらしが必要で、むらしをしないとうまく炊きあがりません。	36
	③	むらし後、ごはんをほぐしながら底からかき混ぜると、余分な水分がとび、ごはんがおいしくなります。	—
	④	炊きこみごはんは、白米に比べ焦げやすくなります。	—
	⑤	もう一度炊飯モードで炊いてください。 水分が少ない状態で再度点火した場合は、やわらかくなる場合や、焦げつきが強くなったり、芯が残る場合があります。 ※おかゆの場合は、自動では炊けません。様子を見ながら弱火(手動)で炊いてください。	35

よくあるご質問 ③

次の現象に当てはまらないとき、また処置をしてもなお異常があるときは、お買い上げの販売店または、よりのお大阪ガス(別紙お問い合わせ先一覧表)に連絡してください。

ご質問		詳細の番号	回答	参照ページ
グリル 点火／消火ボタンから手を放してもスパーク(パチパチ)する グリル使用時に… ご質問の詳細 ① 焼けすぎる ② 焼け足りない ③ 焼きムラ ④ 煙が出る ⑤ 調理中に消火する グリル使用中に、魚などの脂の「パチパチ、ジュージュー」とはねる音がある		—	点火／消火キーから手を放してもスパークが続きます。(最長約7秒) 異常ではありません。	—
		②③ ④⑥	グリルとびらは確実に閉めてください。	39
		①② ③	調理物の数や形状によって、置きかたを調節してください。 調理物に合った火力に調節してください。	40 —
		②③	グリル排気口カバーを正しく取り付けてください。	18・45
		①	みそ漬けやかす漬けの魚を焼くときは、みそやかすは取ってから焼いてください。	40
		②	冷凍の魚はしっかりと解凍し、冷蔵の魚は常温でしばらく置いてください。	40
		④	脂の多い魚などを焼くと煙が多く出するため、グリル排気口以外からも煙が出る場合があります。 異常ではありません。 初めてグリルを使うときは、煙やにおいが出る場合がありますが、グリル庫内の金属部品に残った加工油によるものです。異常ではありません。	42 39
		⑤	グリル庫内やグリル受け皿が汚れていないか確認し、お手入れしてください。 残った調理物などが焦げて、煙やにおいが出る場合があります。	50
		⑤	グリルタイマーが終了すると自動的に消火します。 再度点火してください。 連続の使用などでグリル庫内が高温になると、グリル過熱防止センサーがはたらき自動的に消火する場合があります。グリル庫内が冷めるまで、しばらく(約3分)待ってから使用してください。	41 22
		⑤	グリル焼網の上や下にアルミはくを敷かないでください。 グリル上バーナーの炎口がつまり、燃焼不良、途中消火の原因になります。 弱火の状態でグリルとびらはよく開閉すると、消火する場合がありますのでゆっくり開閉してください。	12・40 15
		—	魚などに含まれている水分が油と接触して、蒸発する音です。 異常ではありません。	—

ご質問		詳細の番号	回答	参照ページ
乾電池 使用時に『ピー』というブザー音とともに、電池交換サインが点滅する 乾電池を交換しても電池交換サインが点滅する ガスのにおいがする いやなにおいがする 使用中、消火後に音がする ご質問の詳細 ① 消火後に「ピー」とブザー音がする ② 「ボン」と音がする ③ 「カチッ」と音がする ④ キシミ音がする ⑤ 「シャー」と音がする ⑥ 点火初期に「ポッポッ」と音がする		—	乾電池が消耗しているためです。乾電池を交換してください。 乾電池を交換する(電池交換サイン点滅)めやすは約1年です。	21
		—	乾電池に記載されている使用推奨期限を確認してください。 未使用の乾電池でも、古くなった乾電池は消耗していますので、新しいアルカリ乾電池(単1形:2個)に交換してください。	21
		—	すぐに使用をやめ、ガス栓を閉めてから原因を調べてください。 ゴム管がきっちりと接続されているか確認してください。 <u>ガス漏れの原因になります。</u> ゴム管にひび割れや穴があいていないか確認してください。ひび割れや穴があいている場合は、ゴム管を交換してください。 <u>ガス漏れの原因になります。</u>	7・8 20
		—	風が吹き込んだり、エアコンや扇風機などの風がコンロの炎に当たらないように配慮して使用してください。 バーナーキャップなどに煮こぼれや水滴がついていないか確認し、お手入れしてください。また、お手入れしたあとは、洗剤や水分が残らないようにしてください。 周囲に燃えやすいものやプラスチック製品などがないか確認してください。	9・16 49 8
		①	点火／消火ボタンを戻し忘れていないか確認してください。 点火／消火ボタンを戻し忘れると、5分おきにブザー音『ピー』でお知らせします。 ※タイマーモードや湯わかしモードなどを使って自動消火したり、安心・安全機能のはたらきにより火が消えたときは、必ず点火／消火ボタンを押し、「消火の状態」にしてください。 <u>戻し忘れたまま放置すると、乾電池の消耗が早くなります。</u> ※他のバーナーを使用中は、ブザー音は鳴りません。	22
		②	コンロバーナー使用後の火の消えたときの音です。 異常ではありません。	—
		③	バーナーキャップが正しく取り付けされていないと、音がする場合があります。	18・46
		④	火力を切り替える動作音です。異常ではありません。 点火後や消火後にキシミ音がありますが、加熱や冷却されるときに、金属が膨張収縮して起こる音です。 異常ではありません。	—
		⑤	コンロバーナー使用中「シャー」と音がしますが、燃焼するガスの通過音です。異常ではありません。	—
		⑥	機器が冷えている状態で点火すると、しばらく音がする場合がありますが、温まると音はなくなります。 異常ではありません。	—

ブザー報知、お知らせ表示

ブザー音	表 示(10回点滅)	部 位	表示箇所	内 容	原 因	処置と再使用時の注意	参照ページ	
《ピー》 (1回)	—	コンロ	—	消し忘れ消火機能の作動	点火後、約120分連続使用した場合など。	点火／消火ボタンを押し、「消火の状態」に戻してください。 続けて使用する場合は、十分換気をしてから、再度点火してください。	22	
		チャオコンロ	—	高温炒めモードで消し忘れ消火機能の作動	設定後、約60分連続使用した場合など。		37	
		コンロ	—	点火／消火ボタン戻し忘れブザーの作動	タイマーや湯わかしモードなどを使って自動消火したり、安心・安全機能のはたらきにより火が消えたときなどで、点火／消火ボタンが「点火の状態」のままになっている。	点火／消火ボタンを押し、「消火の状態」に戻してください。	22	
		グリル	—					
	 電池交換	—	—	電池交換のお知らせ	乾電池の容量が少なくなってきたとき。	乾電池を交換してください。	21	
		標準コンロ	コンロタイマー部	コンロタイマー終了	タイマー設定時間が終了したとき。	点火／消火ボタンを押し、「消火の状態」に戻してください。 続けて使用する場合は、十分換気をしてから、再度点火してください。	27	
		グリル	グリルタイマー部	グリルタイマー終了			41	
《ピー》 (2回)		左コンロ	コンロタイマー部	立消え安全装置の作動	炎のふき消え、煮こぼれした場合など。	点火／消火ボタンを押し、「消火の状態」に戻してください。 続けて使用する場合は、十分換気をしてから、再度点火してください。	22	
		右コンロ						
		グリル	グリルタイマー部	炎のふき消えなど。	点火／消火ボタンを押し、「消火の状態」に戻してください。 続けて使用する場合は、しばらく(約3分)待ってから、再度点火してください。			
《ピー》 (3回)		左コンロ	コンロタイマー部	点火時に着火しなかった	煮こぼれによる炎口つまり、煮こぼれによる点火プラグの汚れなど。	点火／消火ボタンを押し、「消火の状態」に戻してください。 パーナーキャップ、点火プラグなどが汚れていると、点火しない場合があります。お手入れしてください。	49	
		右コンロ						
		グリル	グリルタイマー部	着火不良など。	点火／消火ボタンを押し、「消火の状態」に戻してください。 続けて使用する場合は、しばらく(約3分)待ってから、再度点火してください。	—		
《ピー》 (4回)		コンロ、グリル	使用部位のタイマー部	点火／消火ボタンを長く押し続けている	点火／消火ボタンを長く押し続けたとき。	手を離してください。 点火／消火ボタンを押し、「消火の状態」に戻してください。	—	
		左コンロ	コンロタイマー部	天ぷら油過熱防止機能の作動 焦げつき自動消火機能の作動	調理油の過熱、焦げつき、消し忘れによる過熱、空焼きなど。	点火／消火ボタンを押し、「消火の状態」に戻してください。 よくあるご質問② 「コンロ」「コンロ使用時に…」 ①調理中に消火する ⑤鍋底がひどく焦げついて消火するを確認してください。 天ぷら油過熱防止機能はがたらいて消火した場合は、温度センサーが高温のため、点火しても手を離すと消火する場合があります。冷めるのを待ってから再度点火してください。	22・53	
		右コンロ						
		グリル	グリルタイマー部	グリル過熱防止センサーの作動	グリルの空焼き、消し忘れ、調理物が少ない場合、連続して使用した場合など。	点火／消火ボタンを押し、「消火の状態」に戻してください。 消火してすぐ(グリル過熱防止センサーが高温のままの状態)は、点火してもすぐに消火します。 しばらく(約3分)待ってから再度点火してください。	22・55	
《ピー》 (10秒間 繰り返し)		左コンロ	コンロタイマー部	操作部、温度センサー、 グリル過熱防止センサーの故障	部品が故障しています。	点検が必要です。 使用をやめ(点火／消火ボタンを押し、「消火の状態」に戻し)、ガス栓を閉め、お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガス(別紙お問い合わせ先一覧表)に連絡してください。	—	
右コンロ								
グリル	グリルタイマー部							
コンロ、グリル	使用部位のタイマー部							
ブザーが 鳴り続ける 《ピー》 (約10秒 連続)		左コンロ	コンロタイマー部	電子部品の故障				
		右コンロ						
		グリル	グリルタイマー部					
		コンロ、グリル	使用部位のタイマー部					

長期間使用しない場合、仕様

長期間使用しない場合

- ・ガス栓を閉め、乾電池を取り出してください。
乾電池を入れたままにすると、乾電池の液漏れにより、機器をいためる原因になります。
 - ・機器が冷めていることを確認し、各部の汚れを取り除き、ほこりや異物が入らないようにビニールなどをかけてください。
- 再度使用される場合は、ビニールなどを完全に取り外し、乾電池を入れてから使用してください。

仕様

商 品 名	据置型ガラストップコンロ	
型 番	210-H030型	210-H031型
ト ッ プ プ レ ー ト 仕 様	ブラック	
前 面 パ ネ ル 仕 様	シャンパンゴールド	
型 式 名	LW2267TL	LW2267TR
点 火 方 式	連続スパーク点火	
安 心 ・ 安 全 機 能	・立消え安全装置 ・点火／消火ボタン戻し忘れブザー ・ロック機能	
	・調理油過熱防止装置（天ぷら油過熱防止機能）	
	・焦げつき自動消火機能 ・コンロ消し忘れ消火機能	
	・グリル過熱防止センサー ・グリル消し忘れ消火機能	
付 属 品	・取扱説明書（保証書付） ・クッキングブック ・お問い合わせ先一覧表 ・アルカリ乾電池（単1形：2個）	
外 形 寸 法	高さ180mm×幅595mm×奥行478mm	
質 量	15.5kg	

使 用 ガ ス 使 用 ガ ス グ ル ー プ		1時間当たりのガス消費量kW				ガス接続口
		個別ガス消費量			全点火時 ガス消費量	
		チャオコンロ	標準コンロ	グリル		
都 市 ガ ス 用	13 A	4.20 {3,610kcal/h}	2.97 {2,550kcal/h}	2.03 {1,750kcal/h}	8.37 {7,200kcal/h}	φ9.5mm ガス用ゴム管
	12 A	3.90 {3,350kcal/h}	2.79 {2,400kcal/h}	1.90 {1,630kcal/h}	7.79 {6,700kcal/h}	
L P ガ ス 用		4.20 {0.301kg/h}	2.97 {0.213kg/h}	2.12 {0.152kg/h}	8.37 {0.600kg/h}	

※本仕様は改良のためお知らせせずに変更することがありますがご了承ください。

アフターサービス、廃棄時のお願い

アフターサービス

サービスのお申し込み	
・『よくあるご質問』（51～56ページ）、『ブザー報知、お知らせ表示』（57～58ページ）を見て、もう一度確認してください。 ・ご確認のうえ、それでも不都合な場合あるいは、ご不明な場合はご自分で修理しないでお買い上げの販売店または、もよりの大阪ガス（別紙お問い合わせ先一覧表）にお問い合わせください。	1. 商品名 据置型ガラストップコンロ 2. 大阪ガス型番 機器前面左パネル上面に貼付のシールに表示 (例：210-H030型) 3. 故障または異常の内容(できるだけ詳しく) 4. ご住所、お名前、電話番号、道順(できるだけ詳しく)
な お、連絡されるときは、右記のことをお知らせください。	
転居される場合	
ガスには都市ガス(数種類)およびLPガスの区分があります。 ・ガスの種類が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので転居先のガスの種類をご確認のうえ、お買い上げの販売店または、転居先のガス事業者（供給業者）にお問い合わせください。 ・この場合、調整、改造に要する費用は保証期間中でも有料となります。 ・この機器は13A(12A)もしくは、LPガス仕様により調整、改造できます。	
保証書	
取扱説明書の裏表紙が保証書になっています。 ・保証書に記載されているように機器の故障については、一定期間、一定条件のもとに修理いたします。保証書を紛失されますと、無料修理期間内であっても修理費をいただくことがありますので、大切に保管してください。 ・無料修理期間経過後の修理については、お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガス（別紙お問い合わせ先一覧表）にお問い合わせください。修理によって性能が維持できる場合は、有料修理いたします。	
補修用性能部品の保有期間	
・補修用性能部品《機能を維持するための必要な部品》の保有期限は、当製品の製造打ち切り後6年間です。ただし、保有期間経過後であっても補修用性能部品の在庫がある場合は、有料修理いたします。	

廃棄時のお願い

- ・当機器は、乾電池を使用していますので、大型ゴミなどで廃棄される場合は、必ず乾電池を取り外してください。
- そのままにしておきますと、思わぬ事故になることがあります。

交換部品(消耗部品)、別売部品

交換部品(消耗部品) (お客さまにて取り替え可能な部品)

- ・下記の部品(有料)は、お客さまご自身にてお取り替えしていただくことができます。お求めの場合は、お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガス(別紙お問い合わせ先一覧表)にお問い合わせください。

部品がいたんだり、汚れが落ちにくくなってきたら、お早めに交換してください。

名 称	形 状	本体価格(税別)	部品コード、型番
ごとく		¥1,700	1110H5470950
バーナーキャップ (チャオコン口用)		¥1,800	1110H3620955
バーナーキャップ (標準コン口用)		¥1,800	1110H3620956
グリル排気口カバー		¥1,100	1110H3620954
グリル焼網		¥2,500	1110H4200034
グリル受け皿		¥2,000	1110H5470958

・2015年3月現在の価格です。価格、仕様は、予告なく変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

※上記本体価格には、消費税は含まれておりません。ご購入の際は別途消費税が必要となります。

詳しくは、もよりの大阪ガス(別紙お問い合わせ先一覧表)にお問い合わせください。

アルカリ乾電池(単1形)は電気店などでお買い求めください。

・交換部品(消耗部品)の詳細は『各部のなまえ』(3~4ページ)を参照してください。

別売部品

- ・お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガス(別紙お問い合わせ先一覧表)にお問い合わせください。

名 称	形 状	本体価格(税別)	部品コード、型番
炊飯専用鍋(3合)		¥3,800	111-H002型
炊飯専用鍋(5合)		¥5,200	LP 0135型 *
グリルプレート(セット)		¥2,500	1210H5100981
グリルプレート		¥2,200	1210H5100979
ホルダー		¥ 300	1210H4300980
グリルプレートクッキングブック		¥ 300	1210H4300894

・2015年3月現在の価格です。価格、仕様は、予告なく変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

※上記本体価格には、消費税は含まれておりません。ご購入の際は別途消費税が必要となります。

詳しくは、もよりの大阪ガス(別紙お問い合わせ先一覧表)にお問い合わせください。

*：(株)ハーマンの取扱商品です。

大阪ガス株式会社

大阪市中央区平野町4-1-2

Tel フリーダイヤル 0120-0-94817

(お客さまセンター)